

月刊 GS グラフィックサービス

No.836
2021
07

■ 巻頭言

私のストレス発散方法

—(株)東京商会・大塚宜輝

■ 巻頭企画

ビジネスチャンスだ！GP×SDGs

中小印刷会社でもできる環境対応！

GP 取得企業が語る意義とメリット

■ 特別企画

テレワーク下での「営業秘密」保護を見直す

企業はどのような対策が必要か

■ 新連載

ジャグラ版 DX 始動！①

ワーキンググループ発足の背景と役割は？

—ジャグラ副会長・DXWGリーダー 岡本泰

■ NEWS とお知らせ

JFPI REPORTダイジェスト

日印産連の活動紹介ページ

GS

GS

No.836
2021
07

CONTENTS

■ 巻頭言

1 私のストレス発散方法

東京・新宿支部長/㈱東京商会 大塚 宜輝

■ 巻頭企画：座談会

2 ビジネスチャンスだ！ GP × SDGs

中小印刷会社でもできる環境対応！
GP 取得企業が語る意義とメリット

■ 特別企画

14 テレワーク下での「営業秘密」保護を見直す

企業はどのような対策が必要か

■ 連載・シリーズ

8 ジャグラ版 DX 始動！①

ワーキンググループ発足の背景と役割は？ほか

ジャグラ副会長・DXWGリーダー/㈱クイックス 岡本 泰

26 我が社の自費出版事情⑧

広島・㈱ニシキプリント

なかむら通信

会員の皆様へ



ジャグリストの皆さん、こんにちは。
会長の中村耀です。
定時総会も無事終わり、6月25日の拡大理事会には10名以上の理事が本部にお集まり頂き、久し振りに賑やかになりました。理事の方々による多数のご意見、ありがとうございました。また、理事会直前の委員長会議にも多数の委員長が出席され、熱心に各委員会の進捗状況を報告してくれました。
ジャグラBBも楽しい番組が増えましたし、

本誌6月号、栃木・高橋支部長の巻頭言「今いるところで咲けばいい」は、多くの皆様から賛同のご意見を頂戴する本当に素晴らしいものでした。
コロナ禍はまだ収束の兆しは見せませんが、このような皆様の頑張りに勇気づけられています。
ワクチン接種も徐々に進んでいる様子で、コロナ克服ももう少しです。皆様、もうひと踏ん張り、頑張りましょう！！

月刊 グラフィックサービス

発行 一般社団法人 日本グラフィックサービス工業会

■ 電子版無料公開中！

スマホでも本誌が読めます
公式HPで本誌PDF版を公開中！
毎月中旬、紙媒体より早くご覧いただけます
バックナンバー閲覧もこちらから



<https://www.jagra.or.jp/>



■ NEWSとお知らせ

1 JCST第2期受験者募集中

12 「事業再構築補助金」のご案内

18 ジャグラ第56回定時総会を開催
ネット会議で議案は全て原案通り可決

23 JFPI REPORTダイジェスト
日印産連の活動紹介ページ

24 業界の動き
四国・北海道で総会を開催
後藤山形県支部長が地元の出版文化賞を受賞
イナミツ印刷と小林断裁が業務提携

28 ジャグラBB HOTNEWS

20 書籍案内

21 訃報/コラム

29 事務局日誌と今後の予定/事務局便り

本誌へのご意見・記事提供は下記まで
edit@jagra.or.jp

「ジャグラBB」もご覧ください
経営・教育番組を多数配信！
jagrab.net

私のストレス発散方法

東京・新宿支部長/㈱東京商会 大塚 宜輝



「新型コロナ感染拡大」……、この言葉をいままで何回聞いただろうか。

中国から始まったと言われる「それ」は、発生からすでに1年半が過ぎようとしている。いまだ終息が見えない中、我々の業界も厳しい状況が続いているのではないだろうか。

経営面もそうだが、健康面でもストレスを溜めこんでいる方もいらっしゃると思う。社会生活でもいろいろな制限をかけられ、一番心配なのは精神的な部分ではないかと正直思う。

さて、オリンピックは今のところ開催される方向で動いているが、我々国民が望んだ大会にはなりそうもない。私は元々体を動かすことが好きで、今までいろいろなスポーツをしてきた。飽き性なので、「かじっている」というのが正しいが、そんな私が珍しく長い間続けているのがロードバイク（自転車）でのロングライドである。きっかけは20年前に後輩からたまたま譲り受けたロードバイクだ。全く興味のなかった私であるが食わず嫌いもイヤなので乗ってみると……、自動車では見えない景色が見える……、そこそこ頑張ると良い景色に辿りつくことができる等々、今まで経験したことないものが広がり、今に至る。

体力のない私ではあるが、良い景色を見るためにヒルクライムをしている。ヒルクライムは読んで字の如く峠を登っていくのでなかなかしんどいが、その後の達成感と帰りの「下り」はたまらない。行けるのであればその後、温泉施設に入って汗を流せば……、ますます止められなくなる。

そんなアウトドアな私なので、このように自分の趣味によって、このコロナ禍のストレスを乗り越えている……、というよりコロナ前の自分を保っている。

人にはいろいろなタイプはあるが、体を動かすことはやはり気持ちが良いものだと思う。別に自転車に乗ることを勧めているわけではないが、こんな時こそ趣味——アウトドアでもインドアでも——を見つけて「巣籠り生活」から脱皮し、ネガティブな気持ちを解放して欲しいと思う。

コロナ禍については、恐らく今年いっぱいには終息がみえてくると思う。まだまだいろいろなハードルはあるだろうが、まずは身体的にも精神的にも自分が健康でなければそのハードルすら乗り越えられない。

しっかりと自分をケアして、この難局を乗り越え、全国の会員皆様とお会いできる日を楽しみに、私はまた週末にチャリンコ乗りますっ!! (笑)

お知らせ

ジャグラ認定

DTPオペレーション技能テスト(JCST)
第2期受験者募集中/8.10 申込締切

<https://www.jagra-contest.com/jcst/>



ビジネスチャンスだ!

グリーンプリンティング エスディージーズ=持続可能な開発目標

座談会

GP×SDGs

中小印刷会社でもできる環境対応!
GP 取得企業が語る意義とメリット

SDGsの考えが社会に広まるなか、エンドユーザーの環境意識がこれまで以上に高まっており、それに伴い印刷会社にも環境対応を求めるケースが増えています。印刷関連10団体で組織する一般社団法人日本印刷産業連合会(以下、日印産連)では、以前より印刷産業界の環境自主基準「印刷サービスグリーン基準」を制定し、本基準を達成した工場をグリーンプリンティング(以下、GP)認定工場として、生産される印刷製品にGPマークの表示を許可し、環境に配慮した印刷製品の普及を進めてきました。

今回、中小印刷会社のより一層の環境対応を進めるべく、一般社団法人日本グラフィックサービス工業会(以下、ジャグラ)のGP取得会員4社にお集まりいただき、環境対応の重要性やメリットをお話いただきました。

×

GP 取得のきっかけは?

●菅野 皆さん、こんにちは。本日の司会を務めます東京・城東、興栄社の菅野です。以前ジャグラの環境委員長をさせていただいた関係で、現在、日印産連の方でGP推進部会長を仰せつかっております。私の会社は2007年にGPを取得し、2015年には日印産連の環境優良工場表彰で会長賞を頂戴しました。

さて、昨年10月、菅首相は所信表明演説において「2050年までに温室効果ガスの排出をゼロにする」と宣言しました。これまで印刷業界においては、低炭素社会実行計画における削減目標を大幅にクリアしていますが、大部分は大手企業によるもので、中小企業の環境対応はなかなか進んでいないのが現状です。多くの中小企業はその重要性を認識しつつも、何から取り組めばいいか、取り組むメリットはあるかと、躊躇しているのではないのでしょうか?

そこで今日は環境対応の重要性をお聞かせいただきたく、GPを取得している4社のジャグラ会員にお集まりいただきました。まず自己紹介をどうぞ。

●尾形 千葉県支部、みつわの尾形です。父親の代からジャグラ会員で、私は1995年に2代目として会社を継ぎました。社員数はパートを入れて26名です。得意先は官公庁、教育関係、医療関係、一般企業、各種団体などで事務用印刷物、商業用印刷物、シール・ラベル、ノベルティ制作、動画制作などを承っています。最近ではコロナ対策商品なども取り扱い始めました。ジャグラにおいては、以前、環境委員長を務めさせていただき、その活動を通して環境に興味を持ち始めました。2013年に日印産連の環境優良工場表彰の奨励賞を頂戴し、その後、2020年にGPを取得しています。よろしくお願いいたします。

●川井 東京・三多摩、文伸の川井です。三鷹に事業所があって創業59年、社員はパートさん入れて38人です。印刷を主体とした事業内容ですが、主な顧客は東京の西エリアにある大学を中心とした教育機関、自治体、各種団体、一般企業、個人のお客さんも結構います。特に記念誌、自費出版、大学の本など、編集やデザインに関わる分野に力を入れております。最近では印刷だけでなく、動画制作や地域を応援するイベント企画・運営も本格的に始めています。よろしくお願いいたします。

●米原 東京・文京支部、勝美印刷の米原です。当社は文京区白山が本社、葛飾区立石に印刷工場、創業者の出身地である鳥取にプリプレス部門があります。GPは取得して5年位ですが、その前にみつわさんと同様、日印産連の環境優良工場表彰の奨励賞を頂戴しまして、それがGPに挑戦するきっかけになり、2017年に取得しました。よろしくお願いいたします。



菅野 潔 司会

(株)興栄社

東京・城東

2007年
GP 取得

2015年
環境優良工場表彰
会長賞受賞



尾形文貴

(株)みつわ

千葉

2020年
GP 取得

2013年
環境優良工場表彰
奨励賞受賞



川井信良

(株)文伸

東京・三多摩

2015年
GP 取得

2019年
環境優良工場表彰
奨励賞受賞



米原正信

勝美印刷(株)

東京・文京

2017年
GP 取得

2012年
環境優良工場表彰
奨励賞受賞



黒沢康憲

(株)谷印刷

石川

2008年
GP 取得

2014年
環境優良工場表彰
奨励賞受賞

●黒沢 石川県支部、谷印刷の黒沢です。当社は昭和31年創業で今年65年になる会社です。私は平成2年に会社を継ぎ、もう30数年経ちました。社員は37名。顧客は官公庁、各種団体、学校、民間企業で、受注はページ物が約4割、チラシとかパンフレットの色物が4割、封筒・伝票等の事務用印刷2割で、標準的なジャグラ会員と思っています。GPは2008年に取得し、今年で13年目、これまで計4回更新しています。この間、皆様と同様、日印産連の環境優良工場表彰の奨励賞も頂戴しております。よろしくお願いいたします。

●菅野 ありがとうございます。では本題に入ります。皆さんの会社がGPを取得するきっかけ、取得の際の社員の反応、取得後の会社の変化などをお聞かせください。

●尾形 以前より環境に関しては興味がありましたが、2013年に環境優良工場奨励賞をいただいたのをきっかけに、GP取得をトップダウンで決めました。勝手に会議で発表してキックオフというかたちで、多分、社員は「また勝手にそんなこと言い出して」と、仕方なく取り組み始めたと思います。

細かいことはやりながら考えようと、まず環境委員会を立ち上げて環境方針を発表、GP取得のスケジュールを決

め、GP取得セミナーに社員を参加させ、それらを会社の中期経営計画に盛り込みました。あとはデータ取りですね。社内の環境負荷に関するデータを集めて、毎月の会議で進捗状況を確認しているうちに、グリーン資材の購入・調達を何処にするとか、産業廃棄物の処理を何処にするとか、5Sパトロールとか、営業に関してはアイドリングストップとか、社員それぞれが徐々に動き出すようになりました。総務にはデマンドコントロールの機器を入れており、電力消費量が増えればブザーが鳴るので、館内放送で該当部署に電源下げてくれとか、環境保全を考えながら低炭素化社会実行計画に向けて頑張っている状況です。

●菅野 社員が自ら動き出したという話は本当に素晴らしいですね。次に川井さん。以前、環境委員会として工場見学させていただきましたが、非常に整っている掲示物や5Sパトロール……、いや、御社の場合は5S、「整理」「整頓」「清掃」「清潔」「しつけ」に「整備」「スマイル」をプラスした7Sパトロールでしたね(笑)、それらがきちりできていると感心しました。そこに至るきっかけは?

●川井 大体、外部の方が見学に来ると聞くと綺麗にするわけで、毎日のように誰かが来ればもっと綺麗になるんでしようが(笑)。ウチの場合、環境対応へ本格的に

取り組むきっかけになったのはCTPの入れ替えなんです。社員から「現像機洗うの結構大変なんです」という話が出て、月に2回作業用マスクをしながらゴシゴシ洗うというのが時間的にも体にも苦痛で、結果、現像レスのCTPシステムにしたのです。ここで教えられたのは、現像レスなら環境にも優しいし時間の節約にもなる、そして何より社員の健康にもいいと。当時はGPという言葉をおぼろげに知っていた程度でしたが、これがきっかけとなって「GPとやらをちょっと学んで来たら」って工場長に言ったわけです。結局、工場長を担当者にして挑戦することになったわけですが、初めに苦労したのは、申請書類の記入とか工場の整備とか、いろいろしなきゃいけないことが多かったということです。しかし何より大変だったのは、社員全員にその重要性を理解させることだったと言っていました。やはり、社長と担当者だけの掛け声と頑張りでのGP取得と運用は、できたとしても意義が半減しますからね。

●米原 ウチはGP取得するまで大体1年半位かかりました。最初に環境委員会を立ち上げ、研修に行かせて勉強してもらいました。環境委員会は各部署1名ということで、今6名でやっています。社員の興味とか協力という点ですが、やはり最初はみんな消極的でした。5Sパトロールに回っていくと嫌がる社員も結構いまして、注意すると改善しますが、また元に戻ったりということを2年ぐらい繰り返すなかで、自分たちも5Sに協力しなきゃという意識が芽生えていった感じです。みんなの意識の中にそれが常態化しまして、ここ2、3年は注意するところがほとんどなくなりました。環境委員には手当を出しています。他にもいろいろな委員会とかプロジェクトがあるんですが、全て手当制にしています。

●黒沢 GP取得のきっかけですが、常々社内を見回してあまり綺麗じゃないなと思っていました。インクやPS版処理時のラッカー汚れ、コンパウンドの飛散、洗浄液の

おい等いろいろ問題があり、決して良好な環境ではなく、「なんとかせなならんな」と日々感じていました。また、当時はISO取得など差別化が叫ばれており、これからは「何か資格を持った会社になりたい」と思いました。しかし、ISOは当社にとっては「ちょっと荷が重い、手が届かん」という感じで、いろいろ調べていくうちにジャグラの機関誌でGPを知り、「これならなんとかなるんじゃないかな」とトライさせてもらったんです。

取得に当たり、ウチはのんびりした社風なので、細かい規則を守れるか、取り組みに抵抗があるんじゃないかなと正直不安でしたが、「これぐらいやってみようや」とトップダウンで進めました。幸運だったのは、社員の1人が積極的に取り組んでくれて、本当にありがたかったです。その社員が頑張るうちに、他の何人かも取り組むようになって、「社員にテーマを与えて頑張れと一言言えば、なんとかやってくれるんだな」とつくづく感じました。

GP取得前後の会社の雰囲気ですが、環境意識だけでなくコスト意識も高まった感じです。あと、一体感というかチームワークというか、一つの目標に向かって何かをするという雰囲気が生まれたと思います。よく聞く話ですが、同じ会社に勤めていても、部署が違うとなかなか話す機会がないと言われていました。しかし当社は同じテーマに皆で取り組んだことで、少し風通しが良くなった気がします。

●菅野 ありがとうございます。根気よく続けて習慣化することで当たり前になる。また、中心となって積極的に活動してくれる社員が居るか居ないかで随分違ってきますね。ウチの話もさせていただくと、環境に興味を持つ社員、特に女性が多かったことに加えて、私自身がGPの委員となり、環境対応の重要性を学ばせてもらったことがGP取得に繋がりました。取得して最も変わったことは、室内の整理・整頓による日常作業の効率化です。どこに何が有るのかがすぐに分かり、無駄なストレスがなくなると実感しています。



座談会出席4社の環境ルポ番組を動画サイト「ジャグラBB」で好評配信中です (TOP>経営>環境)

<https://www.jagrabb.net>

GP取得のメリット・デメリット

●菅野 さて、ジャグラでは以前より「環境対応は印刷品質の一部である」として、その重要性、とりわけGP取得を会員企業に促してきましたが、いろいろな方々のお話を聞くと、「環境対応はお金がかかる」と躊躇している会員が多い感じがします。果たして実際はどうか? かった費用とか、GP取得のメリット・デメリットをお聞かせください。

●尾形 環境対応を入札条件としているお客様もいるので、GP取得のメリットはありますね。また、以前はPS版・インク缶・ヤレ紙・断裁くずなど、お金を払って業者さんに「ゴミ」として処分してもらっていましたが、GP取得後の今は、きちんと分別して「資源」として買い取ってもらっています。最近では校正もなるべくオンラインで済ますかたちになっているので、紙代や時間、ガソリン代が節約されています。デメリットとは感じていませんが、照明をLEDに変えたり、デマンドコントロールの導入、作業測定鑑定士による騒音・振動・CO₂排出量測定などのコストは実際かかります。ですが環境対応することによって会社のブランドが上がりますので、トータルすればメリットの方が圧倒的に大きいですね。

●川井 確かにGP取得には、申請料・審査料・認定料などかかるんですが、従業員規模により審査料が10段階に分かれており、9人以下なら計8万3811円で済みます。ウチは30人から49人までの会社なので計23万478円。それ以外に何がかかったか調べたところ、地震対策の落下防止ネットとか、有機溶剤や産業廃棄物の表示看板とか、そんなもので合計2万円位。あとは資料を揃えるのに社員1人で延べ30時間位かかりましたので、そういった

人件費含めでも30万円ちょっとぐらいですかね。この費用をデメリットとして捉えるか、環境投資とするかは経営者の考え次第ですね。対するメリットですが、社員の健康と安全を守るわけでこれは凄いいい。こういう企業姿勢はお客様や地域の方々から、いい会社だと認めてもらう可能性が大きい。

●黒沢 費用がかかるとお考えの方が多いということですが、当社の場合、初めから「できる範囲のことから始める」と決めていました。例えば防音。お金のある会社なら二重窓にリフォームするんでしょうが、当社では社員自らDIYで幕を張ったりしました。どれだけ効果があるかと言われるればそれまでですが、取っ掛かりとしてはそれでも良いと思います。その他、換気装置とかアルコール検知器とか、それなりに設備投資はしましたが、これらの出費は必要経費ですから、デメリットとは思っておりません。

メリットですが、胆管がんの問題が騒がれた際、顧客や社員の家族から「あなたの会社は大丈夫?」と言われたと聞きました。しかし当社はあの当時、すでに環境対応に気を配っていたので自信を持って「大丈夫、対策済」と説明できました。冒頭申しましたように当社は売上げアップが目的でGPを取得したわけではないので、この点は経営者として良かったと思っています。

●米原 デメリットと感じたことはないですが、今、皆さん話されたように取得の初期費用とか更新費用、関係委員会の手当等はコストとしてかかります。また、溶剤とかGPに適している消耗品は多少割高かもしれません。

メリットですが、ゴミの分別、整理整頓等々、それらの徹底でコスト削減、生産性も向上したと思っています。そして何より最近、お客様の意識が加速度的に変わってきていると感じるんです。SDGsの意識の高まりにより、環



環境意識が高まっている感じです。そこで「ウチはGP取得工場ですよ」と言うと、非常に好感を持ってもらえるんです。教育関係とか民間企業さんとかで顕著ですが、官公庁の歩みはまだまだですね。尾形さんから環境対策が入札要件としてあるというお話がありましたが、当社ではそういう記憶がないですね。ですがこの辺りも徐々に変わっていくのではと期待しています。

●菅野 米原さんからSDGsのお話が出ましたが、確かにここ数年、社会の環境意識が高まっていることは事実です。お客様のニーズに応えるのが企業の使命とすれば、環境対応、とりわけGP取得は社会のためにもなるわけですが、こちら辺、まず川井さんにお聞きします。というのは川井さんの会社は、GPマーク普及準大賞を4年連続で受賞しています。その名の通り、お客様から発注いただいた印刷物に、GPマークを付与した件数・総部数などが評価されるわけですが、準大賞って上から4番目位、GP取得の印刷会社は全国で422社あるなかで4番目ですから、とても立派なことなんです。川井さん、少しお話しいただけますか？

●川井 GPを取得して何を考えたかという、工場の環境対応を維持していくことはもちろんですが、工場だけでなく印刷物が環境に優しくないと思分だと思いました。お客様にも理解していただき、参加していただいて環境意識を社会に広めることが重要だと思ったんですね。ご存じのようにSDGsの影響なのか、数年前からお客様の意識が高まっている感じです。なので、「この印刷物、GP仕様にしたらどうですか？」と提案すると、ほとんどが抵抗なく「おお、いいね!」となります。今、環境対応は全業種で求められており、その姿勢を社会は見ていますからね。

この「お客様に提案できる私たちの立場」って結構強みだと思っているんです。これが同業からの下請け仕事だったら、ただ言われたままに刷るだけです。ジャグらって歴史のお客様との直取引が多いでしょう？ お客様と直接お話しできるわけですよ、「GP仕様にしませんか、マークをつけましょう」って。お客様からも「お前の会社、なかなかいいじゃないか」って感謝される。お客様のためにもなり、社会のためにもなり、ウチも感謝される……、これは三方よしですね、幸せなことです。

●尾形 SDGsの12番目の目標は「つくる責任、つかう責任」とあります。GP認定工場で製造した印刷物を提供することは、お客様の発注者責任を担保することでもあります。GPマークの積極的な普及を、我々認定工場と日印産連がともに協力して進めていく必要がありますね。

●黒沢 とてもいい話をきかせていただきました。当社は社員のために環境対応を始めたので、お客様へのPRはちょっと行き届いていない面もありましたが、SDGs絡みで環境意識も高まっていますので、お客様のニーズに応えるためにも、先日、改めて「当社はGP認定工場です」というチラシを作ってPRしている最中です。

ただその中で感じるのは官公庁にしても民間にしても、GPの認知度がまだまだだということです。こういう制度があるということをもうちょっと周知していただければありがたい。例えばプライバシーマークなどは社会的にも認知されていますが、できればこれくらいのレベルになれば嬉しいですね。

●菅野 実はウチも日印産連の資料を基に、お客様にPRするチラシを作りました(下記)。日印産連のパンフレットからお客様に必要な部分だけを抜き出したA4ペラのもので、「興栄社は環境に優しい印刷物を作っています」とPRしたうえで、「環境のことを考えた印刷って何ですか?」と、①3Rを積極的に行っている、②VOCの発生を抑制している、③CO₂を削減している——この3つを解説しました。GPのPRも環境対応活動の一環なので、継続的に続けていく必要がありますね。

●菅野 そうですね、日印産連も、くまモンの生みの親・小山薫堂さんにGPのPR大使をお願いして「印刷と私エッセイ・作文コンテスト」など各種PRを行っています。ジャグらと共にまだまだできることは多いと思います。では次に川井さん。



今後の戦略、会員へのエール

●菅野 さて、いろいろお話をうかがってきた中で、GP取得は大いにメリットがあることが分かりました。それを踏まえて、GPを活用した新たな戦略等があるのか、または日印産連への要望とか、GPを取得しようと考えているジャグら会員へのエールをお願いいたします。では尾形さんから。

●尾形 GPを活用しての戦略ということですけど、ウチの今の課題はGPの社会的認知を推し進めることだと思っています。SDGsへの興味が高まる中、今がチャンスだと思いますし、川井さんが仰ったようにジャグらはお客様と直取引が多いので、PRできる立場にあります。日印産連さんに頑張ってもらうと同時に、我々自身でも大いにPRして認知度を高めていきたいですね。そうすれば自ずとビジネスに繋がっていくと思います。

●菅野 そうですね、日印産連も、くまモンの生みの親・小山薫堂さんにGPのPR大使をお願いして「印刷と私エッセイ・作文コンテスト」など各種PRを行っています。ジャグらと共にまだまだできることは多いと思います。では次に川井さん。

●川井 GP取得をどうしようかと躊躇している方々にお話ししたいことは、社員はもちろん、お客様や社会から歓迎されるということです。やっていいことばかりです。社員の環境への意識が高まる、社員の健康が侵されない、近隣にも迷惑をかけない、もちろん地球に優しい、お客様からも「おたくはネット通販より高いけど、環境に配慮しているから頼みます」って言ってもらえる。そういうお客様が徐々に増えていて、そういう時代になっているんです。国内に1万8000社ある印刷事業所の中で、GPを取得している印刷工場はまだ422社ですよ。それなら早く取得した方が目立ちますから(笑)。そういう意味でもメリットがあります。また、環境や人権などの企業姿勢が評価される時代になり、持続可能な企業という視点でも検討されたいかががでしょうか。

●米原 GPだけの戦略というのは特にはないのですが、今、会社として取り組んでいるのがDX——デジタルトランスフォーメーション。これをいかに実現するかが、当社の大きな課題です。もちろんそこには環境対応・GPも絡んでくるでしょう。コロナ禍対応として、本社7割テレワーク、営業はフリー出勤を目標にしていますが、工場の方の工程管理とか、いつでもどこでも仕事ができる環境をどう作っていくか、できればDTPも工場じゃなくてもどこでも仕事ができるように、そういうことを最終目標として取り組



日印産連 GP 認定制度の Web サイト

<https://www.jfpi.or.jp/greenprinting/>

YouTube の GP チャンネルで情報発信中!

YouTubeのグリーンプリンティングチャンネルで、本年1月末にオンライン開催されたGP工場交流会の様態を一般公開中です。①GPマークの仕組みと表示方法、②GPとSDGsでマーケティングとセールスを革新する、③GP工場によるGPマーク等環境配慮提案事例、の3本!ぜひご覧ください。



<https://youtu.be/-OhpV6HRy6s>

んでいる最中です。

●黒沢 社員のために始めた環境対応なので、GPのPRはまだまだこれから。先程申したようにチラシを作ってPRしている最中です。当面はそれを続けてゆくつもりです。営業に持たせ、お客さんから「これなんや?」ってもらえれば十分。「当社はこういう環境に優しい印刷物を作る会社なんです」と、そのとき説明すればいいと思っています。当地では官公庁などにおいても、まだまだ環境対応で注文がある状況ではありませんが、先ほど来からの皆様のお話の通りSDGsの高まりもありますので、期待を持ってPRに努めたいと気持ちを新たにしました次第です。

●菅野 今日はいろいろお話しいただき、読者の皆さんにとっても随分参考になったと思います。中小企業であってもできることから環境対応を進めれば、デメリットは一つもない、社員やお客様・社会から感謝される等々、環境対応の素敵さが伝わることを期待して、お終いにします。どうもありがとうございました。

デジタルトランスフォーメーション

ジャグラー版DX始動！①

ワーキンググループ発足の背景と役割は？ DXはまず顧客を知ることから



ジャグラー副会長・DXWGリーダー / (株)クイックス **岡本 泰** ひろし

発足の背景

昨今、さまざまな業種や分野で、DX（デジタルトランスフォーメーション / Digital Transformation）への取り組みが推奨されています。2018年に経産省が公表した定義では、「企業がビジネス環境の激しい変化に対応し、データとデジタル技術を活用して、顧客や社会のニーズを基に、製品やサービス、ビジネスモデルを変革するとともに、業務そのものや、組織、プロセス、企業文化・風土を変革し、競争上の優位性を確立すること」と具体的に提唱されています。DXとは進化したIT技術を浸透させることで、人々の生活をより良いものへと変革させるという概念です。

そのような社会的背景もあり、印刷業界においてもDXへの対応が求められています。同業の全日本印刷工業組合連合会は、昨年「印刷DX推進プロジェクト」として事業を開始しました。ジャグラーにおいてもその重要性は認識しており、本誌6月号において「印刷業界におけるDXを考える（株）パリュマシーンインターナショナル取締役副社長・宮本泰夫氏寄稿」と題する解説記事を掲載したところ。また、時を同じくして中村会長から「DXとは何かをわかりやすく解説し、ジャグラーとしての様な会員サービスを提供できるのか、研究せよ」との命を受け、このほどジャグラーDXワーキンググループ（以下、DXWG）を立ち上げて検討することと致しました。本誌での報告や解説を年内に数回、また、来年6月の愛知大会では「ジャグラー版DXの取り組み」を発表する予定です。また、詳細は総務委員会や理事会で随時ご報告させていただきます。

印刷業界及びジャグラーの現況

謄写印刷業から軽印刷業、そしてグラフィックサービス業として変遷・発展してきた私たちの業界は、一時は2000社を超える団体でしたが、現在は800社を下回っています。日本経済における印刷市場はピークから40%以上縮小しており、印刷物だけの受注産業では未来を展望で

きない状態となりました。さらに近年ではコロナとのダブルパンチで売上減少や後継者問題も含め、とても新事業展開など見込めない厳しい企業経営を強いられています。ジャグラー会員の多くは従業員10人前後の会社であり、多額の設備投資を前提とする新ビジネス展開やIT技術導入、新規雇用などの人財戦略等の余力は乏しいのが現状です。

ジャグラー・ビジョン2010とDX

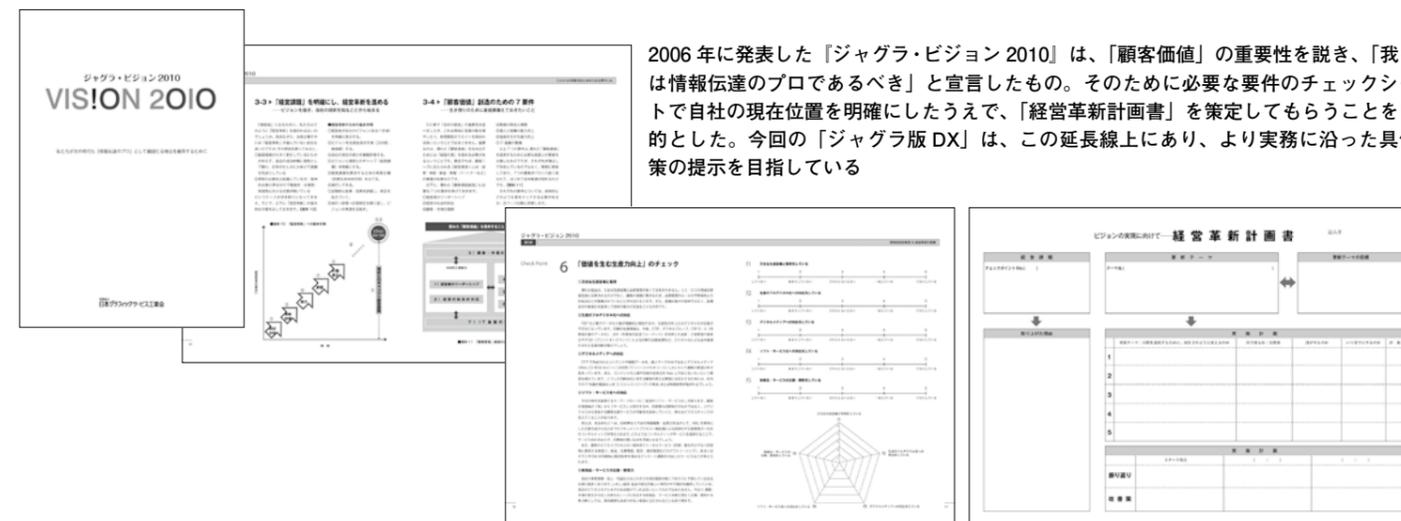
2006年にまとめられた「ジャグラー・ビジョン2010」では、顧客価値を捉えて受注から創注へ、攻める姿勢を説いています。私たちのお客様が求める価値を見出すには、①経営者のリーダーシップ、②経営の社会的対応、③顧客・市場の理解、④戦略の策定と展開、⑤個人と組織の能力向上⑥価値を生む生産力向上、⑦IT基盤の整備、の7つが肝要であると記されています。提唱されてから10年以上経過していますが、今現在でも最も重要な指針であると考えます。

打開策は、まず顧客の販売促進とコストダウンを提案するお客様にとってのビジネスパートナーとなることからでしょう。でも具体的にどうすればいいの、経費をなるべくかけず、各社各様の現有機能を生かして打破するにはどうすればいいのでしょうか。

ジャグラー版DXは、この「ジャグラー・ビジョン2010」で示された方法論のいくつかを現実のものとする取り組みです。中村会長が提唱してきた「強いジャグラー」を具現化する大きな手段の一つです。特に、前述③～⑦において、解決策の事例となります。

DXはまず顧客のことを知ることから

本誌5月号で、東京の鈴木将人理事、東グラの斎藤専務理事が「顧客のことをより理解することの重要性」を述べられています。DXといえば直ぐにITや生産性向上を連想しがちですが、そうではなく手段としてデジタルを用



2006年に発表した『ジャグラー・ビジョン2010』は、「顧客価値」の重要性を説き、「我々は情報伝達のプロであるべき」と宣言した。そのために必要な要件のチェックシートで自社の現在位置を明確にしたうえで、「経営革新計画書」を策定してもらうことを目的とした。今回の「ジャグラー版DX」は、この延長線上にあり、より実務に沿った具体策の提示を目指している

い、お二方が仰るとおり、よりお客様=市場（マーケット）に選ばれる立場になることが目的です。

例えば、旅行代理店A社があるとします。お客様がある目的地に行きたいというニーズがあり、旅行の企画を提案するA社営業マンを想像してみてください。日程、予算などももちろん大事ですが、営業マンとして一番理解しなければならないのはその目的です。旅行の企画時に「ウチは船旅のエキスパートです、自信あります、是非！」と提案したとします。お客様が仕事で移動する役員クラスなら早い移動が求められますし、学生ならいかに安価であるか、新婚旅行で鉄道好きなら列車での移動を組み込む必要がありますし、空からの夜景が目当てなら目的地到着は夜の飛行機便……となりますよね。印刷ビジネスも同じです。印刷も「手段」でしかないのです。



前述の宮本さんは「印刷市場でのDXとは、これまでの印刷ビジネスを一度見直し、顧客視点へと再定義すること

である」と結論付けています。全く同感です。1994年に日軽印からジャグラーへ名称変更したころ、通商産業省（当時）は印刷業について「サービス業・ソフト産業としての性格を有し、いわば2.5次産業として日本経済の次代を担う可能性がある」としています。ワクワクしますよね！

DXで継続受注できる新たなビジネスモデルへ

印刷業は継続受注できることがビジネス上の大きな武器ですが、DXという顧客提案や印刷物以外のことにトライしても、一過性で終わってしまう危惧があります。が、我々が得意とする地道なコンテンツ制作作業/供給、そしてDXに取り組むことにより、ウェブサイトの定期更新やソフトウェアによる定額制ライセンス収入等で印刷物が発生しなくても継続受注のビジネスモデルは構築可能です。また、DXを手段として省人化や省力化、高付加価値化、セットやピックアップなどのアセンブリ化による物流工程までの新たな生産ワークフローの構築など、顧客を囲い込む戦略立案はジャグラー会員の皆様の一つの未来予想図となるでしょう。

我々の仲間には、それぞれトライし、成果を上げているメンバーが多く存在します。それらの会員企業から、具体的な数値を含む事例、開発したソフトウェア、導入前後の

※DXで陥りがちなミス DXは本来、データやデジタル技術を使って顧客視点で新たな価値を創出していくことである。そのために、ビジネスモデルや企業文化などの変革が求められる。しかしながら現在、多くの企業においては以下のような課題が指摘されている。①どんな価値を創出するかではなく、「AIを使って何かできないか」といった発想になりがち ②将来に対する危機感が共有されておらず、変革に対する関係者の理解が得られない ③号令はかかるが、DXを実現するための経営としての仕組みの構築が伴っていない——こうした現状を乗り越えるためには、経営幹部、事業部門、DX部門、IT部門などの関係者が、DXで何を実現したいのか、DXを巡る自社の現状や課題、とるべきアクションは何かについて認識を共有すること、その上でアクションにつなげていくことが重要となる。

（『DX推進指標』とそのガイダンス』より <https://www.meti.go.jp/press/2019/07/20190731003/20190731003-1.pdf>）

アドバイスを全て無償で提供して頂くことを目指します。すでに数社からジャグラー会員限定という条件で承諾を頂いています。印刷関連企業とのコラボレーションや会員企業との連携で成功報酬型のビジネスモデルも目指します。この方法ならジャグラー会員のインシャルコストはかからず、全ての会社で継続受注可能な新たなビジネスモデルへチャレンジすることができます。

DXWGでの検討のポイント

DXを手段とした受注拡大のカギは、「地域活性化」「業態変革」であり、安定経営のカギは「生産性向上」「人材育成」と考えています。また、賛助会員（メーカー）との協業も模索していきます。

①地域活性化

- ・コミュニティの拡大、創造
- ・地域産業における印刷業の役割
- ・地方創生をリードする
- ・ご近所とのコミュニケーション、ネットワークづくり

②業態変革

- ・Web受発注
- ・システム開発/ソフトウェア開発/CMS
- ・コンテンツ制作（XML、動画、撮影、映像）
- ・プログラム言語（Java、Python等）

③生産性向上

- ・モノサシの明確化、実数値の把握、経営理念
- ・働き方改革（計画生産/残業/有給）
- ・ワークフロー再構築（自動化、省人化、工程統合、新設計）
- ・ターゲット工程の効率化（校正、組版、印刷、製本、配送）
- ・時間当たり効率（処理量、処理金額）

④人材育成

上記①～③の方策内で検討

以上のポイントで情報収集し、ジャグラーとして全ての会員企業が取り組み可能なツール——取り組み事例、ソフトウェア、コンサルティング——を無償で提供することを目指します。進め方により、メンバーを追加招集し、分科会で推進する場合もあります。来期以降も引き続きDX施策に基づき継続研究できるように、ジャグラー本部委員会を編成するよう検討します。

【おまけ】

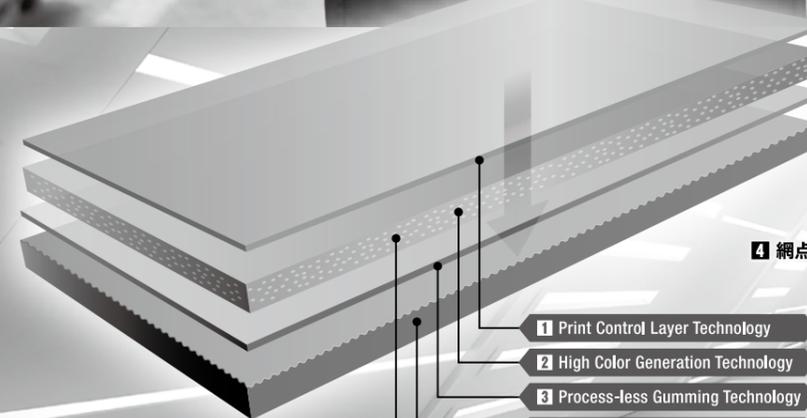
諸先輩たちが築いてきた伝統あるジャグラーも、大きな転換期を迎えています。会員数の減少や印刷市場規模の縮小を見ても明らかです。ジャグラー50周年誌や「ジャグラー・ビジョン2010」で示されている過去の分析と将来への展望について、再度検証しつつ未来を切り開くのがSPACE-21 含め現役メンバーの使命です。この記事をもとめるのに改めてジャグラーの歴史を勉強しましたが、1994年に「軽印刷業」に別れを告げ「グラフィックサービス業」へ転換された勇気と決断力に感銘を受けますし、歴代の執行部・全国理事・会員の皆様の脈々と引き継がれるジャグリストのジャグラー愛を深く感じます。中村会長からご指名を受けてこのDXWGを立ち上げましたが、全ては会員の皆様のため、大いに参考になるように推進してまいります。来年6月の全国大会でのジャグラーDXの発表はお見逃しなく！（宣伝です）

FUJIFILM
Value from Innovation

NEVER STOP

使いやすさの裏に、技術あり。 印刷の、新しい日常へ。

『virtual.drupa』で注目を浴びた「SUPERIA ZX」を、世界に先駆け「SUPERIA ZD-III」として日本で市場導入開始。新技術を余すことなく投入し、“使いやすさ”を極めた無処理プレート。この品質が、この作業性が、印刷の新しいスタンダードになる。



【ZD-IIIの進化のポイント】



- 1 Print Control Layer Technology
- 2 High Color Generation Technology
- 3 Process-less Gumming Technology
- 4 Extreme Adhesive Bonding Technology

FUJIFILM
SUPERIA

新世代完全無処理CTPプレート **SUPERIA ZD-III**

■SUPERIA ZD-IIIの製品情報はこちらでご覧いただけます。

FFGS 無処理



富士フイルムグローバルグラフィックシステムズ株式会社

第57回 定時総会 第64回 ジャグラー文化典

愛知大会 2022

3年ぶりの開催へ!!

6/3 記念ゴルフ・ウエルカムパーティ
6/4 定時総会・文化典式典・懇親会
会場:名古屋観光ホテル
6/5・6 オプションツアー
郷土武将ゆかりの地などをめぐりコースなどをご用意

運営委員長 神山明彦
実行委員長 岡本泰

さうご期待!

ジャグラーの新章はここから始まる!

<https://www.ikomai.jp>

経産省・中小企業庁

「事業再構築補助金」のご案内

ポスト&ウィズコロナ時代を見据えた中小企業の取り組みを支援

経済産業省・中小企業庁では、新型コロナウイルス感染症の影響が長期化し、当面の需要や売り上げの回復が期待しづらい中、ポストコロナ・ウィズコロナ時代の経済社会の変化に対応するために、中小企業等の事業再構築を支援する「事業再構築補助金」の募集を開始しました。

×

概要

概要は次ページの通りです。主要申請要件として以下の3点が挙げられています。

- ①売上が減っている
- ②申請前の直近6か月間のうち、任意の3か月の合計売上高が、コロナ以前（2019年または2020年1～3月）の同3か月の合計売上高と比較して10%以上減少している。
- ③新分野展開、業態転換、事業・業種転換、事業再編に取り組む

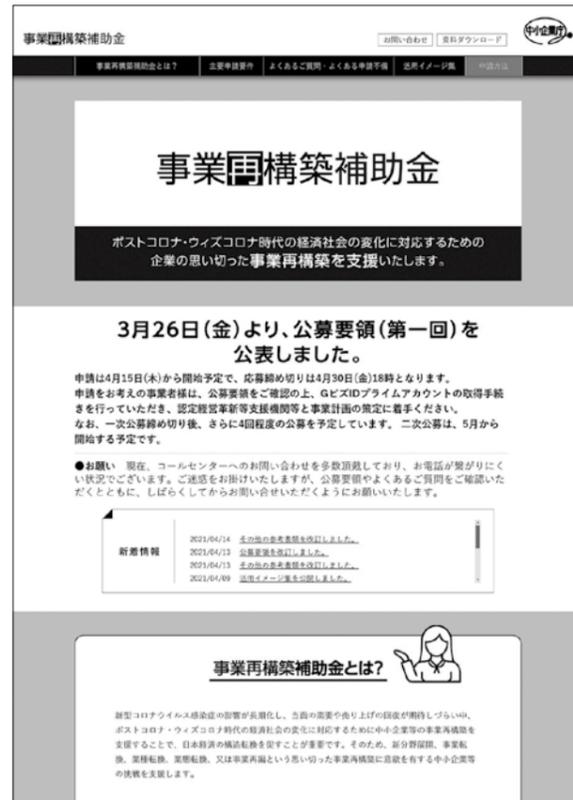
ジャグラ本部にご相談を

本補助金のご活用をお考えの会員企業は、まず、ジャグラ本部にご相談ください。状況をお伺いし、以前よりご相談窓口をお願いしているジャグラ会員でもあるTFSパートナーズ様（東京・新宿）に引継ぎさせていただきます。

※なお、本補助金についての説明動画を作成する予定です。

◎TFSパートナーズ（新宿支部）

TFS国際税理士法人【認定経営革新等支援機関】
〒160-0004 東京都新宿区四谷3-11 山一ビル5階
TEL：03-3225-6400（代） FAX：03-3225-6405（代）
<https://www.tfsnavi.jp/tkc-corona>



詳細は特設サイトでご案内しています
<https://jigyousaikouchiku.jp/>

【補 足】

本補助金は令和3年度中に数回程度、公募するとアナウンスされていますので、ご利用をお考えの方は上記特設サイトを定期的にチェックしてください。

FUJIFILM
Value from Innovation

代表取締役社長
辻 重紀

本社 〒100-0001
東京都港区新橋3丁目25番地30号 富士フイルム西橋ビル
03-3476-0000

富士フイルム
ビジネスソリューション株式会社
執行役員
グラフィックコミュニケーションサービス事業本部
事業本部長
木田 裕士

〒107-0052
東京都港区赤坂9の7の3
TEL 03(6271)5111(代)
本社ホームページは1011年4月1日より変更されました

ホームページ <https://www.fujifilm.com/ffgs/ja>

暑中お見舞い申し上げます

NS PRINT & POSTPRESS
DESIGN からでも 印刷 からでも 製本 からでも

ONE STOP SERVICE

東京 中継し 検索

NS印刷製本株式会社 代表取締役会長 中村 耀
代表取締役社長 中村 盟

東京都新宿区早稲田鶴巻町568 Tel 03-3203-5421 Fax 03-5273-0527

Horizon

Change the focus

iCE Series 誕生

Connected をキーワードに製本工程の自動化を実現します。

iCE Seriesは、お客様へさらなる高付加価値を提供することを目指した次世代型商品群です。ユーザーフレンドリーなインターフェースで作業性を向上させ、安定した生産性と自動化を高次元で追求しています。さらに、ワークフローシステム「iCE LiNK」との連携により、先進的な作業環境を構築できます。

生産性と折り品質が向上

iCE FOLDER 紙折機 AFV-566FKT / AFV-564FKT

ナイフ折り時の最適な給紙間隔をリアルタイムに計測演算し、最高の処理速度を引き出すなど、ナイフSTOPパーの脱着作業を含めた様々な設定を自動化し、幅広いアプリケーションに迅速に対応します。



作業効率と製本品質が向上

iCE BINDER 無線綴じ機 BQ-500

セット替えの高速化により、小ロットや1冊ずつ厚さが異なるパリアブル製本時にも高い生産性を実現します。また、ホリゾン独自のデリバリー機構により、厚い自身のPUR製本においても背にゆがみのない高精度な仕上がりを実現します。



高生産性と自動化を追求

iCE TRIMMER 三方断裁機 HT-300

一枚の断裁刃で天地、小口の三辺を断裁します。断裁前と断裁後の寸法をタッチパネルに入力することで設定が完了し、最高300サイクル/時で高生産性を実現します。冊子厚さの自動測定や、断裁角度の微調整など、自動調整機能により、精度の高い仕上がりを実現します。



ホリゾン・ジャパン株式会社 www.horizon.co.jp

本社 〒101-0031 東京都千代田区東神田2-4-5 東神田堀商ビル5F TEL.03-3863-5361(代) FAX.03-3863-5360
東京支社 〒132-8562 東京都江戸川区松江5丁目10-9 TEL.03-3652-7631(代) FAX.03-3652-8083
京都支社 〒601-8206 京都府京都市南区久世大藪町510 TEL.075-933-3060(代) FAX.075-933-4025
福岡営業所 〒813-0034 福岡県福岡市東区多の津4-12-17 TEL.092-626-8111(代) FAX.092-626-8112

再考 テレワーク下での「営業秘密」保護を見直す 企業はどのような対策が必要か

経済産業省知的財産政策室は、6月2日、最新の営業秘密侵害事例から見えてくる『営業秘密』保護の対応策を発表した。テレワークの普及（原則化）や人材の流動化、内部不正の発生リスク等を折り込んだ重要情報保有企業による「被害防止」と、受入企業による「侵害抑止」に向けた取り組みの実効性をどう確保するか、という課題への対応策を示している。

本誌では昨年6月号で「在宅勤務・テレワークの注意事項まとめ」を掲載した。本稿もそれを確認する内容となるが、最近では印刷会社内部もあるが、顧客とのオンライン会議も急速に増えている。テレワークが日常業務化してきた中で、「営業秘密」について改めて確認しておきたい。併せて、経済産業省が平成31年に改定した「営業秘密管理指針*」も参照されたい。

×

被害防止の取組：ポイント＝社内規程の見直し

●内部不正による漏えい割合は増加傾向

IPA調査：営業秘密実態調査2020によれば、

- ①漏えいルートが多くが中途退職者であり（36.3%）、内部不正による漏えい割合は増加傾向
- ②テレワーク環境での他社との情報共有ルールやクラウドサービスでの秘密情報の扱いなどについては他の項目に比べて対策が進んでいない状況

●テレワークへの切り替えにあたって

改めて、秘密情報の管理の態様や諸規程の整備状況を確認し、秘密情報の持出や外部クラウドの利用、オンライン会議利用等の記載について、必要に応じて見直しを図ることが重要である。テレワーク対応・内部不正対応についての課題は、IPA調査：営業秘密実態調査2020によれば、

①テレワークにおける情報管理ルールを定めていない企業が相当数存在（29.5%）

②社内規定の見直しは進んでいるものの、個別の従業員・退職者からの書面徴求は低水準

と指摘している。

https://www.meti.go.jp/policy/economy/chizai/chiteki/pdf/13_210602_meti.pdf

テレワーク時における秘密情報管理のポイント (Q&A)

ここでは経済産業省知的財産政策室が2020年5月7日に公表した「テレワーク時における秘密情報管理のポイント (Q&A)」から抜粋して紹介する。

https://www.meti.go.jp/policy/economy/chizai/chiteki/pdf/teleworkqa_20200507.pdf

●テレワーク対応

Q1 今までテレワークに対応した準備をしてきませんが、昨今の情勢に鑑み、従業員のテレワークを認めたいと考えています。テレワークにあたってはこれまで企業の内部で保管していた営業秘密に該当する秘密情報も一部持ち帰って作業を行うなどの取り扱いを検討する必要があります。営業秘密としての保護との関係が気になるところですが、どのような対応から始めたらよいのでしょうか。

A1 テレワークへの切り替えにあたって、改めて、秘密情報の管理の態様や諸規程の整備状況を確認し、必要に応じて見直しを図ることが有用と考えられます。

具体的には、

- ①営業秘密管理規程や情報取扱規定、セキュリティ規定等の社内規程がテレワークに即した内容になっているかの確認・改訂
- ②当該諸規程について従業員（派遣労働者も含まれます。）への周知徹底（メールによるリマインドやeラーニングの実施等）
- ③情報の性質に応じた当該情報への適切なアクセス権者の設定
- ④「㊟（マル秘）」「社内限り」といった秘密であることの表示の付記
- ⑤ID・パスワードの設定

といった対応をとることが考えられます。

不正競争防止法が求めている営業秘密該当性の3要件のうち、テレワークへの切り替えにあたっては、特に、秘密管理性要件をどのように確保するかについて、悩まれることもあると思います。この秘密管理性要件の趣旨は、「企業が秘密として管理しようとする対象（情報の範囲）が、従業員等に対して明確化されることによって、従業員等の予見可能性、ひいては経済活動の安定性を確保する」ことにあります。

そこで、まず、会社として、自社が保有している情報のうち秘密として管理しようとする情報の範囲を明確にするとともに、当該情報に対する従業員の予見可能性を確保するために、どのような措置（秘密管理措置）を実施するかを検討する必要があります。

各種情報取扱規程等の関連規程を改めて見直し、通常勤務における情報の取り扱いに関する規定に加えて、テレワークの実施を念頭に、必要な場合には秘密情報の社外へ

の持ち出しを認めつつ、その場合のルール（秘密管理措置）を定めること（各種情報取扱規程等の見直しも含まれます。）が考えられます。

その他、従前から取り組んでいるものもあるかと思いますが、テレワーク開始にあたって、改めて、従業員の予見可能性を確保するために、情報の性質に応じた当該情報への適切なアクセス権者の設定、秘密情報が含まれる媒体への「㊟（マル秘）」「社内限り」といった秘密であることの表示の付記、ID・パスワードの設定等の措置（各種情報取扱規程等におけるルールの設定状況及び実施状況）を再確認し、必要に応じ追加的措置をとることも有用です。

●クラウド利用では

Q2 当社では、外部クラウドを利用して、営業秘密を管理しています。このような場合であっても、営業秘密として保護されるのでしょうか。

A2 外部クラウドを利用したとしても、直ちに営業秘密としての法的保護を失うわけではありません。営業秘密管理指針にも、「外部のクラウドを利用して営業秘密を保管・管理する場合も、秘密として管理されていれば秘密管理性が失われるわけではない」旨記載されています。

（詳細：経済産業省「営業秘密管理指針*」11頁）

以下のポイントを押さえた管理を意識することで、万が一の場合でも、営業秘密として不正競争防止法による法的保護を受けられる可能性があります。秘密管理性要件の趣旨は、Q1に記載のとおり、「企業が秘密として管理しようとする対象（情報の範囲）が、従業員等に対して明確化されることによって、従業員等の予見可能性、ひいては経済活動の安定性を確保する」ことにあります。したがって、例えば企業内の部署・職位等に応じてアクセス権者を制限する、クラウド上のデータや当該データを格納するフォルダにアクセスする際にID・パスワードの入力を要求する、当該データのファイル名や当該データ上に「㊟（マル秘）」

暑中お見舞い申し上げます

ジャグラー東北地方協議会
理事 向井一澄
〒028-1711
岩手県八幡平市大更2-1-16の9
TEL 0195-762514
FAX 0195-760731

ジャグラー栃木県支部
支部長 高橋亮太
〒321-1142
栃木県日光市新野1-22-183
TEL 0288-541223
FAX 0288-541241

ジャグラー千葉県支部
支部長 尾形文貴
〒261-0002
千葉市美浜区新港2-13-5
TEL 043-2424849
FAX 043-2424833

ジャグラー神奈川県支部
支部長 岡澤誠
〒210-0846
川崎市川崎区小田五-1-15
TEL 044-333-7867
FAX 044-333-7867

ジャグラー長野県支部
支部長 宮澤徹
会員一同
〒390-0821
長野県松本市筑摩1-11-30
TEL 0263-554329
FAX 0263-554329

ジャグラー愛知県支部
支部長 神山明彦
会員一同
〒451-0042
名古屋市西区那古野1-21-14
TEL 052-565114
FAX 052-565148

ジャグラー大阪府支部
大阪府グラフィックサービス協同組合
理事長 岡達也
会員一同
〒541-0048
大阪市中央区瓦町1-6-10
TEL 06-7607-4444
FAX 06-7607-8822

創文印刷出版株式会社
代表取締役 熊谷晴樹
〒980-0821
仙台市青葉区春日町8-34
TEL 022-222-0181
FAX 022-222-4246

「社内限り」等の秘密であることの表示を付すことによって、従業員の予見可能性を確保するといった方法が考えられます。これらの措置の中には従前から取り組んでいるものもあるかと思いますが、改めて、営業秘密管理規程や情報管理規程、セキュリティ規程等の関連規定の内容を再確認（場合により見直し）するとともに、その実施状況の確認をすることが有用です。

なお、外部クラウド上で営業秘密を管理するにあたっては、そもそも選定するクラウドの安全性等に十分注意することや、契約後ファイルをクラウド上にアップロードする際に公開範囲の設定に十分注意することも必要になります。例えば、外部クラウド上の不特定多数の者が、閲覧可能なフォルダ等に営業秘密をアップロードしてしまった場合、営業秘密の3要件の1つである「非公知性要件」を満たさなくなる可能性が生じるものと考えられます。

また、不要となったファイルのクラウド上からの消去の徹底にも注意を要します。消去できているか不安が残るときは、暗号化して読めなくする方法も考えられます。

◎「非公知性」が認められるためには、一般的には知られておらず、または容易に知ることができないことが必要です。

（詳細：経済産業省「営業秘密管理指針*」17頁）

●オンライン会議では

Q3 テレワークの実施にあたり、オンライン会議を利用することが増えました。営業秘密管理の点で注意すべき事項等はあるでしょうか。

A3 オンライン会議を利用することによって、例えば、オンライン会議中に画面共有した資料の営業秘密該当性が

直ちに否定されることはないと考えられます。もっとも、特に、不特定多数の者が出入り可能な場所でテレワークを実施している場合には、オンライン会議において画面共有した資料ののぞき見・盗撮等のリスクがあります。

また、会議の音声他者が盗み聞きする等の可能性もありますので、不特定多数の者が出入り可能な場所でオンライン会議を実施しない、イヤホンマイクを利用するといった措置を取ることも考えられます。これらの措置の中には従前から取り組んでいるものもあるかと思いますが、改めて、営業秘密管理規程や情報管理規程、セキュリティ規程等の関連規定の内容を再確認（場合により見直し）するとともに、その実施状況の確認をすることが有用です。

なお、オンライン会議サービスやソフトの中には必ずしもセキュリティが十分とはいえないものがあることも否定できませんので、その選定に際して十分な検討が望まれます。例えば、オンライン会議への第三者の入り込みや会議内容の傍受等の問題も指摘されていますので、当該オンライン会議システムのセキュリティ等については、十分確認のうえ、利用すべきものと考えられます。また、オンライン会議サービスやソフトについて、不慣れな従業員が設定ミス等でセキュリティを低下させることを予防するため、勤務先としては、従業員との間で事前にテスト会議をリモート開催する、従業員向けサポート窓口として専用ダイヤル等を設ける、といった方法を講じることも有益です。

※経済産業省「営業秘密管理指針」URL

<https://www.meti.go.jp/policy/economy/chizai/chiteki/guideline/h31ts.pdf>



ウェブサイト運営にむけて

IPAが企業ウェブサイトのための脆弱性対応ガイドを公表

（独法）情報処理推進機構（IPA）は、この3月にウェブサイトの脆弱性対策を促進するため、「企業ウェブサイトのための脆弱性対応ガイド〜」を8年ぶりに改訂しました。

<https://www.ipa.go.jp/files/000089537.pdf>

×

今回の改訂では、被害事例の刷新、クラウドサービスの利用や外部委託の際の注意点などを追加するなど、8年間の変化を踏まえた最新情報に差し替えています。

【内容】こんな時にご覧ください、ウェブサイトを安全に運用するために、脆弱性対策を必ず行うべきウェブサイトとは、ウェブサイトの脆弱性対策のポイント



また、クラウドサービスの利用が増えていますが、その際の注意事項も併せてチェックしておきましょう。IPAの参考資料を紹介しておきます。（他にも総務省・経産省に資料があります）

●IPA クラウドサービス安全利用の手引き
<https://www.ipa.go.jp/files/000072150.pdf>



TOKYO QUALITY.

すべてのSPコミュニケーションに最良の品質を。



東京リスマチック株式会社

なんでも相談窓口

プリントデスク ☎ 0120-269-132

平日（月～金）9:00～17:00 E-mail: support@lithmatic.co.jp



Lithmatic
<http://www.lithmatic.net>

6.2 ジャグラー第56回定時総会を開催

ネット会議で議案は全て原案通り可決
新理事として、田中良平さん、山中克彦さん、松下忠さん3氏を承認

ジャグラー第56回定時総会が、去る6月2日、午後2時よりネット開催され、全ての議案が原案通り承認されました。

×

総会は並木清乃事務局長の司会により定刻どおり開催した。今年は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、ジャグラー文化典大阪大会を中止し、東京のジャグラー本部にてネット利用での開催となった。最初にこの一年間に逝去されたジャグラー会員6名の冥福を祈り、出席者全員で黙祷を捧げ、続いて中村耀会長より以下の挨拶があった。

「今回、新型コロナウイルス感染拡大防止のためジャグラー文化典大阪大会が中止となったことは誠に残念である。昨年に引き続きネットを利用した総会となったが、参加者以外も視聴できるようにジャグラーBBを通して同時配信している。関東複写地協退会による会費収入減少などで、来年度予算に影響があるが、知恵を絞って乗り越えたい。新型コロナウイルスに負けないジャグラーにするためにも実りある総会にしていきたい。」

司会より「規定により総会の議長は会長が務める」旨、説明し、中村会長が議長として着席、以降、進行は議長が務めた。

議長は事務局に、総会資格審査報告、議事録署名人、総会役職者について次の通り報告させた。

- 本定時総会に出席すべき正会員の総数＝855名
- 総会成立に必要な正会員の数＝428名
- 現在出席している正会員の数＝2名
- ネット経由で出席している正会員の数＝31名
- 欠席で委任状が提出されている正会員＝683名
- 合計＝714名



昨年に引き続きネット開催となった定時総会本部の様相
左より並木事務局長、中村会長、沖専務理事

以上、出席構成員の数が過半数に達しているので本定時総会における議決は有効である旨、報告した。また、議事録署名人として東京地協の清水隆司さん、関東地協の尾形文貴さん、総会役職者（総会書記）は並木事務局長が務める旨、報告して議場の承認を得た。

次に、議長は議事運営について、「本総会は総会資料の議案の通り、第1号議案より第6号議案までとなっているが、総会運営準則第7条に基づく動議はない。従って、審議・議決が必要な議案は第1号議案より第5号議案の五つになる。議決の方法は第1号議案より第5号議案まで、全ての議案について出席構成員の過半数をもって決めることにする。また、全ての議案について過半数の委任状で賛成の承認を得ている」と報告し、総会の議事に入った。

- 第1号議案：第56年度事業報告の承認に関する件
 - 第2号議案：第56年度決算報告の承認に関する件
- 議長より第1号議案および第2号議案は関連があるため、一

括して提案し、その後、それぞれについて審議・採決したい旨の説明があった。それを受け、まず第1号議案の提案説明を沖敬三専務理事が、第2号議案の提案説明を谷川聡副会長がそれぞれ行った。また、定期監査報告は鈴置誠監事が行った。

第1号議案についての質問・意見を議場に求めたところ、発言はなく、異議なく満場一致で原案通り承認された。続いて、第2号議案の質問・意見を議場に求めたところ、発言はなく、異議なく満場一致で承認された。

○第3号議案：第57年度事業計画の決定に関する件

○第4号議案：第57年度収支予算の決定に関する件

続いて第3号議案について沖専務理事が、第4号議案については谷川聡副会長が、それぞれ提案説明をした。

第3号議案についての質問・意見を議場に求めたところ、発言はなく、異議なく満場一致で原案通り承認された。続いて、第4号議案についての質問・意見を議場に求めたところ、発言はなく、異議なく満場一致で原案通り承認された。

○第5号議案：役員を選任に関する件

続いて第5号議案役員を選任に関する件について、沖敬三専務理事が提案説明をした。

「通常、役員改選は2年ごとに実施しているが、今回は特別に理事として田中良平さんを推薦したい。田中さんは㈱クイックスから出向という形を取り、ジャグラーには10月1日から常勤する。3か月間は経験を積んでいただき、理事会の承認を得たうえで、来年1月1日より常務理事として勤めていただきたいと考えている。また、四国地協総会が5月29日に実施され、中越理事の退任が決まった。後任として徳島県支部のブランド



田中良平さん



山中克彦さん



松下忠さん

印刷・山中克彦さんを理事として推薦したい。なお、四国地協専務として前愛媛県支部長である森孝さんが任命されたので、ジャグラーの理事会には森さんがオブザーバーとして参加される。また、近畿地協・兵庫県支部の岸徹さんが退任されるため、代わりに和歌山県支部の㈱ウイング・松下忠さんを理事として推薦したい。」

提案説明の後、第5号議案についての質問を議場に求めたところ発言はなく、議長が第5号議案について、採決を行ったところ、異議なく満場一致で原案通り承認された。

○報告事項

ジャグラーDXワーキンググループおよび2022年6月に実施するジャグラー文化典愛知大会について岡本副会長より説明を行った。ジャグラーDXワーキンググループはDXをわかりやすく解説するなど、活動を機関誌で掲載しながら愛知大会でプロジェクトの取り組みを発表する。また、愛知大会は6月3～6日にかけて実施、400名の参加を見込んでいる。

議長は、午後3時55分、第56回定時総会の議事が終了した旨を宣言し、降壇した。総会の閉会の挨拶を岡本副会長が述べて第56回定時総会を終了した。

以上

●出席理事・監事（会議場での参加）
会 長 中村耀
専務理事 沖敬三

●出席理事・監事（ネット経由での参加）
副 会 長 熊谷正司、岡澤誠、清水隆司、岡本泰、谷川聡、宮崎真
理 事 渡辺辰美、向井一澄、熊谷晴樹、中島博、尾形文貴、樋貝浩久、鈴木将人、齋藤秀勝、中村盟、吉岡新、笹岡誠、原田大輔、武川優、高橋広好、岡達也、岸徹、中越忠男、本村豪経、池邊寛
監 事 東海林正博、鈴置誠、前沢寿博

●欠席理事・監事（ただし委任状を提出済み）
理 事 斎藤隆正

暑中お見舞い申し上げます

株式会社 ショーウ
代表取締役社長 伊澤秀春
〒101-0065 東京都千代田区西神田一七八
TEL 03(3665)6411
FAX 03(3665)6419

ホリゾン・ジャパン株式会社
代表取締役社長 宮崎 進
〒101-0031 東京都千代田区東神田2の4の5
TEL 03(3665)7031
FAX 03(3665)8083

コニミノルタジャパン株式会社
プロフェッショナルプリント事業部
事業部長 須田 徹
〒100-0003 東京都港区芝浦1の1の1
TEL 03(6311)9061
FAX 03(6311)9505

SCREEN
代表取締役社長 木谷 活
Katsu Kitani
株式会社 SCREEN GP ジャパン
〒135-0044 東京都江東区越中島一丁目1-1
ヤマタネ深川1号館
TEL 03-5621-8266
FAX 03-5621-8378
www.screen.co.jp/ga

DAIYAMIC
代表取締役社長 谷本泰彦
ダイヤミック株式会社
〒130-0026 東京都墨田区両国二丁目1-10
電話 03(5600)5494
FAX 03(5600)5994
https://daiyam.jp

株式会社ムサシ
代表取締役社長 羽鳥雅孝
〒104-0061 東京都中央区銀座8の20の36
TEL 03(3544)7717
FAX 03(3544)7718

株式会社 大塚商会
代表取締役社長 大塚裕司
〒102-8573 東京都千代田区飯田橋2-18-4
Tel.03-3264-7111

暑中お見舞い申し上げます

ジャグラー副会長
熊谷正司

株式会社 熊谷印刷

〒010-0001
秋田市中通6-4の2
TEL 018(833)2220
FAX 018(833)6732

倉敷印刷株式会社
代表取締役 **清水隆司**

〒130-0013
東京都墨田区錦糸4-16の17
TEL 03(663)0031
FAX 03(663)0002

株式会社クイックス
代表取締役社長 **岡本 泰**

〒481-0005
愛知県刈谷市幸町2-2
TEL 0566(24)5511
FAX 0566(26)0200

株式会社北斗プリント社
代表取締役 **谷川 聡**

〒606-8940
京都市左京区下鴨高木町38の2
TEL 075(791)6125
FAX 075(791)7290

ジャグラー副会長
ジャグラー中国地方協議会会長
宮崎 真

〒738-0838
広島県西区南インター7の5の3
TEL 082(27)6959
FAX 082(27)6954

有限会社 小池印刷
代表取締役社長 **伊藤文雄**

〒380-0936
長野市中御所3
TEL 026(2)6219
FAX 026(27)6264

株式会社 荒川印刷
代表取締役社長 **荒川 壮一**
取締役会長 **荒川 幹夫**

〒460-0012
名古屋市中区千代田1-6-30
TEL 052(262)1006
FAX 052(262)2296

株式会社 ウイング
代表取締役 **松下 忠**

〒640-8411
和歌山県和歌山市権取17の2
TEL 073(453)5700
FAX 073(453)5222

日経印刷株式会社
代表取締役社長 **廣瀬 智**

〒102-0072 東京都千代田区飯田橋2-15-5
TEL 03(6758)1001 FAX 03(3263)5814
https://www.nik-prt.co.jp

「伝える」の最上級へ。
野毛印刷
取締役会長 **金子 徹**
代表取締役社長 **森下 治**

営業企画本部
〒232-0027 横浜市南区新川町1-2
☎(045)252-2511
http://www.noge.co.jp

共立速記印刷株式会社
代表取締役会長 **吉岡 新**
代表取締役社長 **笹井 靖夫**

〒102-0072 東京都千代田区飯田橋3-11-24
PHONE.03-3234-5511(代) FAX.03-3263-2740

ポスター『ながめて楽しい漢字5万字』
大修館書店

世界最大の大漢和辞典、諸橋轍次著『大漢和辞典』に収録されている5万を超える漢字を一覧できる圧巻のポスター。自分の名前に使われている漢字を見つかり、変わった形の字を探したり、楽しみ方いろいろ。文字を扱う印刷会社の娯楽性インテリアとしても最適!

- ◎サイズはB全判(728×1030mm)
- ◎漢字1文字の大きさは140(3.5ミリ角)
- ◎配列は伝統的な部首順による
- ◎タテの行、ヨコの列に10刻みの通し番号あり
- ◎2750円

ながめて楽しい漢字5万字

世界最大の大漢和辞典
諸橋轍次著『大漢和辞典』の漢字5万字が一覧できる!

訃報 江曾鶴一ジャグラー参与逝去さる

江曾鶴一ジャグラー参与(東京・新宿/第一資料印刷(株)前社長)が6月16日に逝去されました。享年93。

故人はジャグラーが法人化する前の昭和36年7月～昭和37年、専務理事に就任した履歴があります。ジャグラーの前身である日騰連発足間もない時期より功績はありましたが、ここで大きな足跡を残しております。特に昭和38年に開催した山中大(現在のジャグラー文化典)では、『軽印連5か年計画』を策定し、当時の騰写印刷業界を単なる任意団体ではなく行政とのパイプを持った法人とし、事業所・経営者のみならずそこで働く労働者の利益も実現していこうと提案するに至りました。残念ながらその総会では計画は承認されませんでした。その時の計画はその後の日軽印の法人化・退職金共済の実現へと続いているほか、「文字印刷の主流たらん」というフレーズは後々語り継がれています。またジャグラーの30年史である『軽印刷全史』では編集委員としてジャグラーの正史を残したほか、50年史である『進化を求め続ける印刷集団「ジャグラー」～50年の歴史と展望』においても引き続き編集委員に就任し、後進の育成を図る功績を残しています。

通夜・告別式は長男である政英氏(第一資料印刷(株)社長)を喪主としてコロナ禍を鑑み近親者にて営まれました。

心よりご冥福をお祈り申し上げます。合掌

【ジャグラー役職歴】
専務理事 昭和36年7月～昭和37年8月
相談役 昭和37年8月～昭和39年8月
相談役 昭和47年8月～平成7年8月
参与 平成7年8月～令和3年

【主な賞罰】
組合功労賞 昭和51年8月22日
軽印刷発展功労賞 昭和62年8月23日

訃報 小澤孝男ジャグラー元理事逝去さる

小澤孝男ジャグラー元理事(山梨県・(株)オズプリンティング会長)が6月18日に逝去されました。享年71。

故人は、ジャグラー山梨県支部長を長く務め、支部組織の結束を図ってきたほか、青年部「山梨AUC」としても活躍していました(SPACE-21結成以前)。

関東地協会長にも就任したほか、ジャグラー理事・常任理事としても活躍しました。

通夜・告別式は長男である孝一郎氏(株)オズプリンティング社長)を喪主として営まれ、山梨県支部会員を中心に参列し、最後のお別れをしました。

心よりご冥福をお祈り申し上げます。合掌

【ジャグラー役職歴】
支部長 平成11年～平成22年
地協会長 平成12年～平成14年
常任理事 平成12年9月～平成14年9月
理事 平成20年9月～平成22年6月

【主な賞罰】
印刷振興賞(日印産連) 平成22年9月15日
発展功労賞 平成23年6月10日

Column コラム
「Dojoナビ」初めてでも迷わず使える“秘密”
e- 中小企業ネットマガジン Vol.980 より転載 (https://mail-news.smrj.go.jp/)

さまざまな業務の生産性を向上させるのに欠かせないIT化。新型コロナウイルス感染症の影響に伴い、テレワークやオンラインによる商談、商品・サービス提供は増えており、これまで以上にその重要性は増している。ただIT化に際して、新たなシステムの操作手順をいかに素早く社内に浸透させるか、教育・研修コストをどう低減させるかが課題として浮上している。

その解決策の一つが、テンダ(東京都豊島区)が開発したシステム操作ナビゲーションソフト「Dojoナビ」だ。実システムの画面上に、どこを操作するかを示す「赤枠」や、どう操作するかを説明した「吹き出し」を直接表示し、異なる習熟度に応じてリアルタイムに操作手順をサポートする。初めて使うシステムでも、指示通りに操作するだけで作業でき、事前知識が必要な経理や勤怠といった基幹システムも迷わず使いこなせる。

今やりたい操作だけをナビゲートするので、例えば月1回ごとで忘れやすい操作もスムーズに行える。また自分が間違えやすい内容をメモしてシステム上に「ふせん」として貼り付けられるほか、組織内での運用ルールや注意事項も共有できる。事前の集合研修や紙のマニュアル作成などが不要になるほか、社内の情報システム部門に対する操作方法や不明点の問い合わせも激減。システムの改修は一切不要で、導入・運用コストを大幅に削減する。

このソフトは、テンダが2008年に開発したマニュアル制作ソフト「Dojo(ドージョー)」から生まれた製品だ。Dojoはマニュアルを作りたい対象ソフトを操作するだけで、自動的に操作画面の画像を取得し、その操作を説明文として保存するため、マニュアルの作成作業を大幅に削減する。12年前の「第21回中小企業優秀新技術・新製品賞」のソフトウェア部門で優秀賞を獲得し、累計2600社以上が導入する人気ソフトに成長した。

ただある時、ある社員が「紙のマニュアルに書いてあることをパソコンにそのまま表示できたらもっと楽になる」と考えた。システムとマニュアルを同一画面上で一体化させることを目指し、試行錯誤を繰り返した。そして「第33回中小企業優秀新技術・新製品賞」に応募。ソフトウェア部門で最上位となる「中小企業基盤整備機構理事賞」を受賞した。今年4月14日の贈賞式で中村繁貴社長は、賞の意義と社員への感謝の言葉を強調した。

この事業部門の責任者である富澤和宏執行役員は、今後の事業展開について、まずサーバー上に蓄積された膨大なログ(操作履歴)を人工知能(AI)で解析し、最適なナビゲーションを表示する方法を検討するという。「例えば何かの作業で止まった時、こういう作業をしたくて困っているのではないかとことを自動表示するシステム」と説明する。将来的には、このナビゲーション機能を他社製品に組み込んでもらうことも狙う。ナビ機能の「業界標準」を目指して、挑戦は続きそうだ。



SHOWA

ユーザーサポートこそ商品

株式会社ショーワは、謄写版および付属品の販売と謄写印刷業の「昭和謄写堂」として、昭和3年に幅弓之助が創業しました。

創業者の幅弓之助は「良いものを売り、売ったものには責任を持つ事」に頑固なまでにこだわり続け、そのこだわりは創業から100年に向けて今なおショーワの社員一人一人にDNAとして脈々と受け継がれています。

長きに渡り、多くの取引先企業様より厚い信頼を寄せて頂けるのも、企業理念にもあります様にユーザーサポートという目に見えない、形のない「商品」だからこそ、付加価値を創造し続け、溢れる情報、市場状況を正確に分析・判断しうる知識とユーザーサイドで常に物事を考える「誠意」が評価して頂けているものと考えています。

今後も常に「ユーザーサポートこそ商品」の企業理念、創業者・幅弓之助の熱い志を胸に社員一同業務につとめていく所存です。

21世紀のグラフィックアーツを共に考えるショーワユーザー会

コラボレーション&リサーチ ユーザー会で密に情報交換

SHOWA会

- 年間活動
- 研修会 ○工場見学 ○総会・幹事会
 - 会報・メールマガジンの発行 ○有志グループ活動

問い合わせ、入会お申込みは事務局まで
SHOWA会事務局 TEL.03-3263-6141 FAX.03-3263-6149



株式会社
プリントメディアの総合商社
http://www.showa-corp.jp/

〒101-0065 東京都千代田区西神田2丁目7番8号 TEL 03-3263-6141(代) FAX 03-3263-6149

日印産連の活動ピックアップをご紹介します。詳しくはQRコードよりWEBページをご確認ください。

こんにちは。日本印刷産業連合会です！活動紹介ページを新設しました。ぜひご覧ください。

JFPI REPORT ダイジェスト

じばにうむ 事例発表会開催
印刷産業の地方創生事業事例発表会「じばにうむ2021」はオンラインにて開催いたしました。

全国から選りすぐりの6社がそれぞれの地域で、自社の強みを活かして展開している好事例をご紹介します。上記の二次元コードより各社の発表動画をご視聴いただけます。



開会のご挨拶 瀬田章弘委員長 基調講演 山田仁広島県副知事

デジタルプレス調査報告書公開
国内の印刷産業におけるデジタル印刷の状況を把握し、さらに活用度を高めていくための調査結果(2020年版)をまとめました。

報告書(概要版)は無料でダウンロードできます。

地方創生好事例紹介
じばにうむレビュー
デザインで地域と企業を応援する
Change Maker ヨツハン株式会社(岐阜県)

- 企画・デザイン力を活かした酒類販売
- お酒×デジタルで新たなビジネスの開発・展開
- 自治体・地域住民双方になくてはならない生活情報誌の発行

知能的財産アドバイス

抽選会における景品類の設定に関する注意点
※印刷会社の業務で起こりうる、知的財産に関するトラブル・疑問とその注意点について、関係する知的財産に関する法律を交えて紹介・解説していきます。

(注) QRコードのリンク先は7月末頃新しい事例へ更新予定です。

●その他の活動などについてもWEBページに掲載、更新しておりますので、ぜひご覧ください。

印刷用語集
聞きなれない専門用語も多い印刷用語をカテゴリ別や50音で探すことができ、わかりやすく解説しています。

印刷産業 Monthly Report
各種統計データなどを基に、印刷業の動向、国内経済動向から得意先市場の動向、及び印刷に関わる資機材業の動向を毎月末に公表しています。

「印刷って、何?」が楽しくわかる
ぷりんぴあ

出版物のご案内
印刷会社のみなさんに役立つ情報を掲載した小冊子をご購入いただけます。

第19回印刷産業環境優良工場表彰受賞工場のご紹介

『2020年度、第19回印刷産業環境優良工場表彰』は、2019年11月から第1次の募集を開始し、2020年9月に開催する「2020年、印刷の月 記念式典」で表彰を行う予定にしておりましたが、新型コロナウイルスの影響で上位賞に該当する工場に対して行う現地審査を、当初の予定通り実施することが出来ず、2020年度中の表彰は見送りとなりました。

今回受賞が決定した10社については、2021年9月に開催する「2021年、印刷の月 記念式典」で表彰を行う予定にしております。

経済産業省 商務情報政策局長賞 2工場



(株)光陽社 飯能プリンティングセンターBASE (株)大川印刷

《アフターコロナプロジェクト進行中》

アフターコロナにおける市場の変化に業界全体としてどのように対応すべきかを検討することを目的に、会員10団体からメンバーを募り、今年3月に「アフターコロナ・プロジェクト」を立ち上げました。

コロナによってどのような困難に直面してそれをどう乗り越えようとしているか、そして今後アフターコロナにおける市場の変化にどのように対応しようとしているかを調査するために、まず10団体の会員企業に向けてアンケートを実施(5月頃)、さらに、10団体で共通する課題を抽出し、印刷業界として横断的に解決する方法を探るために、各団体の代表者や若手経営者による座談会を実施いたします(6月頃)。

併せて印刷業界のクライアントの主な業界における動向と展望も調査し、会員企業の今後の経営の指針となるような方策を検討し、これらの内容を冊子にまとめ、今年の「9月印刷の月」において発表する予定です。



業界の動き

ジャグラー

5.29 四国地方協議会が総会開く 新地協会長に山中克彦氏（徳島）を選出 四国地方協議会

ジャグラー四国地方協議会は5月29日、通常総会をリモートにて開催、新地協会長に山中克彦氏（徳島）を選出しました旨、報告がありました。

×

昨年の総会はコロナ禍により書面総会となり、今年こそは対面総会を香川県支部主催で開催する予定でしたが、コロナ禍が一向に収まらないため、止むを得ずリモートでの開催となりました。

総会は、(有)多田謄写堂・多田史郎氏が司会、(株)万成社の辻紘一氏が議長を務め、4支部それぞれ1か所に集合し、4分割の画面でコミュニケーションをとりながら開催されました。組合員総数47名のうち出席21名、委任状19名で、総会が成立する旨の確認がなされ、事前に送付していた議案書を見ながら8議案についての審議がなされ、原案通り全ての議案が可決されました。

今年は役員改選の年にあたっており、中越忠男氏が勇退され、新地協会長に徳島・グランド印刷(株)の山中克彦氏が選出されました。また、2023年にジャグラー文化典が高知県で開催されることも併せて確認しました。

なお、今期より4県の支部長も下記のように改選され、それぞれ紹介がありました。

- ◎徳島県 楠藤 治 氏/ディメンションナントウ
- ◎香川県 石原 靖昌 氏/(有)シーアンドシーイシハラ
- ◎愛媛県 重松 生泰 氏/三創印刷(株)
- ◎高知県 坂本圭一朗 氏/(株)リーブル

(報告：香川・荒木克法さん)



ネット開催となった四国地協総会の様子

ジャグラー

北海道支部総会を書面表決で開催 書面・メール・電話にて全議案を承認 北海道支部

ジャグラー北海道支部の総会が書面表決で行われた旨、報告がありました。近況報告も併せてご紹介します。

×

北海道支部は総会を書面表決にし、皆様に協力いただき、書面の他、メールや電話も使い、6月7日に全員のご承認をいただきました。

近況ですが、北海道のコロナ感染が大きく減少しない中、旭川の渡辺や伊林さんは早い内に帰宅して食事を終えることがどういうことか実感、留萌の鈴木さんは母親よりも早くワクチンを打ったにもかかわらず、留萌市役所クラスターのあおりを受けてどこにも行けず、帯広の高原さんは社長業をリモートのままほとんど会社におらず、札幌の藤田さんも東京に貼り付いている状況ですが、釧路の伊貝さん曰く「1年後は嘘のように沈静化していることを想像して頑張りましょう」。早く全道の顔合わせができればと思っています。

北海道もようやく気温が上がってきました。旭川でも30度超えとか、東京より暑くなる日も増えてきます。スポットクーラーを設置して、少しの間ですが頭を冷やすのに使ってます。もっとも、頭が冷えてもちっともいいアイデアが浮かびませんが……。

(報告：渡辺辰美理事)

ジャグラー

後藤山形県支部長が地元の出版文化賞を受賞 『温孔知新～素晴らしき謄写印刷の世界』 6.12 に受賞式と講演会

後藤卓也山形県支部長の本誌連載記事をまとめて自費出版した『温孔知新』が、「第15回小荷駄のみどり出版文化賞」を受賞し、6月2日に受賞式と講演会が行われました。

×

昨年自費出版した『温孔知新』が、山形市関係者が昨年発行した出版物の最高賞である「小荷駄のみどり出版文化

賞」を受賞しました。同賞は山形市立図書館図書ボランティア「小荷駄のみどりから」が主催するもので、今年は数百点の応募がありました。

当日は授賞式の後、「懐かしきガリ版印刷とその魅力」と題して1時間程講演をしました。講演会では、①俳優佐藤慶さんとガリ版について、②かつてガリ版名人であった作家井上ひさしの父修吉について、③井上修吉とも交流があり山形県南部を中心に活躍した「みちのくの謄写印刷名人」鈴木藤吉・童話作家濱田廣介らとの関係、を取り上げると同時に、井上修吉らが制作した作品や孔聖・草間京平ら謄写印刷名人たちの多色刷り作品等を見せながら人間業の素晴らしさを話しました。

コロナ禍によって売上が減少し、何一ついい事が無い昨今ですが、出張や宴会等が全く無くなったおかげで自由な時間が多く取れ、受賞作を編集発行する事ができ、今日の受賞に至った経緯を述べ、「コロナ禍は決して悪い事ばかりではない。いつかきっと明るい日が必ず来る」と力説して講演会を終了しました。コロナ感染防止のために100人入れる会場で30人限定の講演会になってしまったのは残念でしたが、身に余る栄誉をいただき、今まで応援していただいた皆様に感謝申し上げ、これを励みに今後も頑張っていきたいと思っております。

(寄稿：後藤卓也山形県支部長)



表彰を受けた後藤支部長（左）と講演会の様子

ジャグラー

(株)イナミツ印刷と(株)小林断截が業務提携

東京・港支部の(株)イナミツ印刷（稲満信祐社長）は、(株)小林断截（東京都墨田区/小林宏慈社長）と6月4日に業務提携契約を締結しました（資本提携はありません）。

×

イナミツ印刷は持っている経営改善ノウハウとシステムを提供し、小林断截は商品加工技術と商品開発ノウハウを提供します。この業務提携はお互いができない事を補完するという事ではなく、DX化を通じて企業として強く脱皮

業界の動き



稲満信祐社長（右）と小林宏慈社長（左）

するための大きな一歩と考えているとのこと。

◎イナミツ印刷提供技術：①リアルタイム損益管理システム、②損益管理システムから抽出したデータを基にした具体活用方法（経営改善）、③人的交流によるスタッフ部門の強化

◎林断截提供技術：①商品開発技術、②商品加工技術

短 信

ジャグラー賛助会員のコダック（同）より『プレート用処理薬品』を値上げしたい旨、書面と対面にて通知がありました。「原材料費の高騰や物流費等、その他コストの上昇に直面している」として、8月以降注文分より値上げ（15%アップ予定）とのこと。値上げ幅等詳細は改めてお客様に書面で案内するとのこと。

会員の異動

会員名簿を修正・追加願います

【役員変更】

◎新任役員

- 理事：松下 忠/和歌山県支部 (株)ウイング
- 理事：山中 克彦/徳島県支部 グランド印刷(株)
- 理事：田中 良平/株クイックスより出向

◎退任役員

- 理事：岸 徹/兵庫県支部(株)トライス
- 理事：中越 忠男/高知県支部(株)伸光堂
- 理事：斎藤 隆正/関東複写センター協同組合 (株)ワイシードキュメント

【地協会長変更】

- ◎近畿地方協議会：岸 徹/兵庫県支部 (株)トライス
→ 松下 忠/和歌山県支部 (株)ウイング
- ◎四国地方協議会：中越 忠男/高知県支部 (株)伸光堂
→ 山中 克彦/徳島県支部 グランド印刷(株)

【支部長変更】

- ◎京都府支部：高屋 伸啓/たかや印房
→ 立木 哲生/(株)あおぞら印刷
- ◎徳島県支部：山中 克彦/グランド印刷(株)
→ 楠藤 治/ディメンションナントウ
- ◎愛媛県支部：森 孝/(株)松栄印刷所
→ 重松 生泰/三創印刷(株)
- ◎高知県支部：直原 孝一/(有)総合コピーサービス
→ 坂本圭一朗/(株)リーブル

【新入会員】

- ◎(株)ティー・ラウンジ/東京・文京 徳永 泰敏
〒112-0002 文京区小石川 2-1-2
ユニオン小石川第1ビル 1005
Tel 03-5615-9221 Fax 03-5615-9220

我が社の自費出版事情

第8回：(株)ニシキプリント (広島) <https://www.nishiki-p.co.jp>

錦紫出版 / 野田夏梨 著『究極の自己満足』

自費出版アドバイザー
生産管理課・企画課 主任 **吉澤美保**

「本づくりのニシキプリント」の伝統と自費出版

弊社は1967年(昭和42)6月に、故・宮崎忠が独立創業した、広島の中では古参の部類に入る印刷会社です。印刷物の中でも特に本づくりが好きだった創業者は、創業当初より“文字物・書籍づくり”を弊社の印刷会社としての強みにして、書籍づくり一筋の書籍専門の印刷業者になりたいという強い思いを持っていたそうです。記録を形として後世に残す本の大切さを説き、本を作りたいと思う人々の役に立ちたい、そのためにもいい本を作りたい——そう語っていた創業者の思いは、文字物だけでなくカラー印刷やオンデマンド印刷、またホームページやデジタルサイネージ等、印刷の領域を超えて業務を展開している現在でも、「書籍づくりのニシキプリント」という伝統として息づいています。

そんな弊社が自費出版を手がけるようになった経緯については、はっきりとした記録が残っておらず定かではありません。個人的な推測ですが、「本づくりのことで一人ぐらいこだわりを持つ者がいてもよからうが」と語っていた創業者のもとに、本を作りたいと思う人が吸い寄せられるように集まってきたと考えても不思議ではありません。1990年(平成2)3月に刊行された個人句集の発行所が錦紫出版となっており、この頃までに印刷会社・ニシキプリントとは別に、出版会社・錦紫出版を併設していたようです。この句集の著者と創業者で出版社名を決めたというエピソードは確認できたものの、名前の由来についての詳細な記録は残っておらず、今となっては弊社名の「ニシキ」から漢字名を組み立てたのだらうと推測するのみです。

その後、視覚障害者の方の歌集を7冊出版しましたが、それ以外にまとめて刊行された書籍はなく、また錦紫出版としての受注もほとんどなく、社員であってもその名を目にすることがほとんどないまま歳月が流れていました。

現在の自費出版の取り組み

現在弊社の印刷部門は商業印刷がメインで、出版物編集のための専門部署はなく、せいぜい私の所属する校正担当部署が印刷原稿に軽微な校閲を行っている程度です。会社として大々的に自費出版をPRしているわけでもなく、錦紫出版の独自サイトも開設していません。

それでも、ネット検索などで弊社を探し当て、相談されたことがきっかけとなって受注につながることもあり、ほとんどは錦紫出版としてではなく印刷者・ニシキプリントという形ではありますが、途切れない程度に自費出版を手がけています。多くは営業が普段の外回りの合間に対応していますが、中には直接弊社に相談に来られるお客様もおられ、日中不在がちな営業に代わりに内勤の私が対応することもあります。「本を作りたい、でも何をどうすればいいのかわからない」と不安そうなお客様が、校正を重ねていくうち、そして完成した本を引き取りに来られた時、とだんだん笑顔に変わっていくのを目の当たりにすると、「業者慣れ」した担当者とのやり取りとは違うやりがいを感じます。

そんな私ですが、社内で初めて自費出版アドバイザー試験に挑戦し2019年(令和元)に合格することができました。アドバイザーに認定されたからといって何かが大きく変わったわけではありませんが、自費出版以外の仕事でも私

の一言が説得力を持ち納得してもらえるのであれば、少しは重みがあるのではないかと、思っています。

余談ですが、アドバイザー試験の解答作成中、「一周忌を前に、亡くなった姉の絵手紙をまとめた本を作りたい」というお客様の対応と重なりました。解答作成で余裕がなく多少荒れた面もあったであろう当時の私にとって、家族思いの優しい心をひひしと感じさせるお客様とのやり取りは、ほっとするひとときでもありました。

初めての自費出版文化賞入賞作品

細々と自費出版に取り組んでいた弊社ですが、ついに2017年(平成29)の第21回日本自費出版文化賞のエッセー部門において、錦紫出版の本が入賞を果たしました。野田夏梨さんの『究極の自己満足』です。

『究極の自己満足』は、広島を中心にアートイベントの運営を手がけるオシャレな30代女性、そして2児の母でもあるバリバリのキャリアウーマン・野田夏梨さんの、キラキラしたセブリティな日常が書かれたエッセイで……と思いきや、行くところ行くところで起こるおかしな事件をおっさん臭い文章で淡々と語っていく、電車読み注意のおもしろエッセイです。ブログの文章のように少ない文字数で改行され、エピソードが見開きで完結する(野田さん曰く「目指すは、いつどこから見ても楽しい夕方再放送の水戸黄門スタイル」)、若い世代に受け入れられやすいイマドキな紙面構成になっています。

野田さんは出版に至った思いをブログで「人生をつまらないと感じている方、恋愛に苦しんでいる方、子育てに悩んでいる方に、同じようにさんざん悩んできた自分の経験を通して『大丈夫だよ』と伝えたかった」と語っていますが、一方で「そんな内容にも関わらず、『爆笑しました』というお言葉もいただいた摩訶不思議なエッセイ」とも評しています。笑わせたり感動させたり泣かせたり、いろいろな感情が湧き上がってくるこのエッセイは、現代を生きる全ての女性たちへのエールが込められた「リアルな30代女性のエッセイ」であり、著者の経験や視点を通し

て自分の内面と向き合うことができる「読むデトックス」な本でもあります。

また『究極の自己満足』は、弊社が運営するネットショップ「安芸ん堂」(<https://www.akin-do.com/>)でも販売を行っています。もともとは知人の紹介を介して弊社を知った野田さん。そして、紹介された弊社の担当者が安芸ん堂運営スタッフを兼ねていたことから、安芸ん堂ブログ上で本の内容はもちろん、発行経緯や野田さんの紹介、出版記念イベント告知などの記事を公開し、情報発信を行いました。また、出版記念イベントの際は安芸ん堂としてワークショップを開催し、来場者と一緒にブックカバーとしおりづくりを行うなど、単に本を作るだけではない“しかけづくり”も手がけました。

新しいかたちの出版会社をめざして

これまでご紹介したように、弊社では長年自費出版に取り組んでいながら目立った実績もなく日本自費出版文化賞の入賞もわずかに1点と、「自費出版やってます!」と声高らかにPRできるほどではないかもしれませんが、そんな弊社ではありますが、これからは創業者が築いた弊社の原点〜本づくりへの熱意〜を忘れることなく、「書籍づくりのニシキプリント」として、数は少なくとも自費出版を志すお客様を確実に導くことのできる出版会社でありたいと考えています。

そして、自費出版物の刊行で終わりではなく、ネットショップを使った販売や情報発信に取り組むなど、著者の「本を作りたい!」「多くの人に読んでもらいたい!」という気持ちにいろいろな方向から応えられる、出版会社を超えた出版会社をめざしているところです。

記録を本という形として後世に残す自費出版は、紙離れ、印刷離れと言われる現在でも一定の需要が見込まれます。コロナ禍で自費出版の需要が伸びているとも言われていますが、コロナ禍に関係なくこれからも自費出版という文化が活発であることを祈るばかりです。

自費出版とは直接関係ありませんが、弊社発行の創業者・宮崎忠追悼集『宮崎恕信』を紹介します。本づくりが好きだった故人を偲ぶのにふさわしい、和綴りの追悼集です。創業者についての記述は、この追悼集を参照しました。(「崎」の表記は原本ママです)

※追悼集『宮崎恕信』『宮崎恕信追悼集』編集委員会編集、1995年(平成7)10月22日発行、170×220mm、404ページ



本社社屋 (広島市)



野田夏梨著『究極の自己満足』の表紙と本文
2017年(平成29)6月24日発行 / B6判 / 190ページ / 1600円+税

ジャグラが運営する、印刷業関連のセミナー、情報動画配信サイトです。2006年の開局以来、印刷業の情報収集、人材教育ツールとして多数の印刷会社に活用されています。

BTubeに投稿してみよう!

BTube
ってなに?

BTubeは会員の皆さんのための動画投稿エリアです。支部の集まりや仕事に関係の無い趣味の紹介まで。数十秒の短いものから数分の動画まで楽しい動画をお待ちしています。
※Jagra 会員さんのみ閲覧可能。安心してご投稿下さい。

スマートフォンで
簡単!
BTubeへの
映像データ投稿方法

- ① スマートフォンでブラウザを開く
- ② "ギガファイル便"と検索。
- ③ ギガファイル便サイトのファイル選択ボタン押下。
- ④ お持ちのスマートフォンで撮影したファイルを選択。
自動的にデータアップロードが開始。



- ⑤ "完了"表示後、その下にあるURLをコピー。
- ⑥ メール "jagrabb@jagra.or.jp" に貼り付けて送信。
※タイトルには動画タイトル、本文には動画の説明文を付けて送信
- ⑦ 動画がUPされるのを楽しみにお待ちください。



**今週の
支部長**

ジャグラニュースの人気コーナー。毎回、全国の支部長さんにインタビューを行っています。



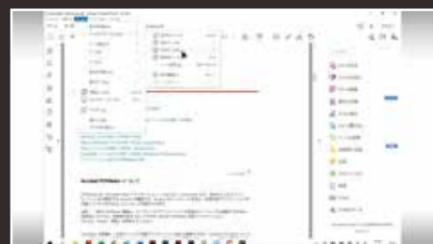
JaGra News 新キャスター
竹平 晃子 さん
TNC(テレビ西日本)、NHK横浜を経て現在、ライムライト所属のフリーアナウンサー。宮崎県出身、手帳・文具マニア、焼酎大好きな竹平キャスターをよろしくお願ひします。

好評配信中!

カテゴリー > ニュース > ニュース・業界情報 > ジャグラニュース 現在取材継続中! 今後にご期待ください!

今月のおすすめ番組

最新情報はWEBをチェック



Acrobat & PDF
ベーシックトレーニング
(step-2 基本操作)



ビジネスマッチングサロン・
オンライン(第8回)
東京グラフィックス提供



[BTube]中華風レタス包み
兵庫県:交友印刷(株)
杉本浩康様 投稿作品



カテゴリー > 教育と技術 > ジャグラスクールBasicシリーズ | カテゴリー > BBネットワーク > 支部・地協発情報 | カテゴリー > BBネットワーク > BTube

事務局日誌と
今後の予定

最新情報はHPでご確認ください

6月の事務局日誌

- 2日 第56回定時総会 (Web会議)
- 7日 プライバシーマーク現地審査 (秋田)
- 8日 プライバシーマーク現地審査 (秋田)
- 9日 総務委員会 (Web会議)
- 14日 生産性向上委員会 (Web会議)
- 15日 プライバシーマーク現地審査 (千葉)、広報委員会 (Web会議)
- 16日 印刷図書館 定時評議員会・理事会→中村会長、日印産連定時総会・理事会→中村会長・沖専務、日印産連理事会→中村会長・清水副会長他、日印産連アフターコロナプロジェクト→中村会長・沖専務、(以上全て、日本印刷会館及びWeb会議にて開催)
- 17日 プライバシーマーク現地審査 (福岡)
- 22日 マーケティング委員会 (Web会議)、プライバシーマーク現地審査 (新潟)
- 23日 プライバシーマーク現地審査 (新潟)
- 25日 委員長会議 (本部)、拡大理事会 (本部)、大阪府支部総会 (書面総会)
- 28日 経営技術研究委員会 (Web会議)
- 29日 プライバシーマーク現地審査 (熊本)

7月のスケジュール

- 2日 年賀状選考会議 (本部)
- 7日 プライバシーマーク審査会 (本部)
- 8日 プライバシーマーク現地審査 (大阪)
- 9日 プライバシーマーク現地審査 (大阪)
- 12日 生産性向上委員会 (Web会議)
- 13日 広報委員会 (Web会議)、プライバシーマーク現地審査 (東京)
- 14日 プライバシーマーク現地審査 (徳島)
- 16日 第2回DXワーキンググループ (広島)
- 26日 プライバシーマーク現地審査 (福島)
- 27日 経営技術研究委員会 (Web会議)
- 28日 マーケティング委員会 (浜松)、日印産連ステアリングコミッティ・専務理事連絡会議 (日印産連会議室) →中村会長・沖専務、日印産連表彰選考委員会 (日印産連会議室) →中村会長、総務委員会 (Web会議)
- 29日 プライバシーマーク現地審査 (神奈川)

8月のスケジュール

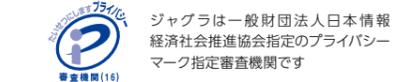
- 4日 日印産連理事会 (日印産連会議室) →中村会長・清水副会長
- 16日 第3回DXワーキンググループ (Web会議)

事・務・局・便・り

皆様、ジャグラBBの新サービス「BTube」をご存知ですか? 会員さん自身が作成した動画を送ることができます。中でも交友印刷さんの動画は娘さんのお料理が上手でほっこりします。ほかには西村膳写堂さんの動画「アンジェラ・アキコ」のサロンがとておいしい味を出しています。次回の登場が楽しみです。会員限定ですので、地元のイベント紹介や自社のPRにご利用ください。(K.N)

月刊「グラフィックサービス」836号

■発行日 令和3年7月10日 (毎月1回)
■発行人 中村 耀
■編集人 清水 隆司
■発行所
一般社団法人
日本グラフィックサービス工業会 略称ジャグラ
〒103-0001 東京都中央区日本橋小伝馬町7-16
電話 03-3667-2271 ファクス 03-3661-9006
ウェブ https://www.jagra.or.jp/



■編集部 メール edit@jagra.or.jp

◎企画: ジャグラ広報委員会

委員長 清水 隆司 / 副会長
委員 中村 耀 / 会長
田中 秀樹 / 東京・城東
斎藤 成 / 東グラ専務理事
沖 敬三 / 専務理事
外部委員 藤尾 泰一 / (有)インフォ・ディー
事務局 阿部奈津子
守田 輝夫

◎原稿・編集・校正: ジャグラ事務局ほか

沖 敬三 並木 清乃 阿部奈津子
今田 豪 守田 輝夫 酒井 玲子
長島 安雄 (以上、ジャグラ事務局)
斎藤 成 (東京グラフィックス / 広報委員)
藤尾 泰一 (有)インフォ・ディー / 広報委員)
日経印刷(株) (校正のみ)

◎渉外 並木 清乃 守田 輝夫

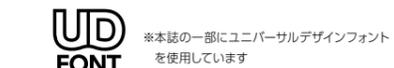
◎広告 酒井 玲子

◎Web 阿部奈津子

◎動画 今田 豪

◎組版 / デザイン (有)インフォ・ディー

DTP = Adobe CS6/CC ほか
フォント = モリサワ 0TF / モリサワ BIZ+ ほか



※本誌の一部にユニバーサルデザインフォントを使用しています

◎製版 / 印刷 日経印刷(株) (東京・千代田支部)

RIP = 大日本スクリーン Trueflow
CTP = 富士フィルム XP-1310R
刷版 = 大日本スクリーン PT-R8800ZX
印刷機 = ハイデルベルグ社 SM102-8P
インキ = DIC

用紙 = 三菱ニューVマット FSC-MX 菊判 62.5kg

※本誌はFSC森林認証紙(管理された供給源からの原材料で作られた紙)とLED-UVインキ(リサイクル対応型)を用い、環境に配慮した印刷工場で生産されています。
https://www.nik-prt.co.jp/

Copyright 2021 JaGra / 禁無断引用

※本誌記載の製品名は一般に各メーカーの登録商標です
原則、TMや®マークは省略しています
※乱丁 / 落丁本はお取り替えいたしません



リョービMHI
グラフィックテクノロジー株式会社

菊全印刷に新風を



RMGT 970 誕生

いまの環境社会に適合するために、もっとも大切なことはなんでしょうか？
地球や環境にやさしく、それでいて生産性が高い、新時代の菊全印刷機を開発しました。
新開発の RMGT 970 は、最大紙寸法 650×965 mm (最大印刷寸法 640×930 mm※1)。

菊全判用紙やK判用紙に、ジャストサイズです。

さらに、メイクレディから試刷り、本刷りまでをノンストップで行える自動印刷機能により、
印刷準備時間の短縮や稼働率の向上を実現します。

菊全判印刷機 RMGT 970 が菊全印刷に新しい風を吹き込みます。

※1 片面印刷時の仕様です。両面印刷時は 630×930mm

Assist Your Potential

— 技術力と創造力で、あなたの可能性を支援する —

リョービMHIグラフィックテクノロジー株式会社
〒726-0002 広島県府中市鵜飼町 800-2 TEL 0847-40-1600
<https://www.ryobi-group.co.jp/graphic/>